

2025
Fire Fighting Annual Report

消防年報

令和6年版



十日町地域広域事務組合
十日町地域消防本部・署

(令和7年度刊行)

十日町地域広域事務組合組合章



組合章の由来

円中央の三つのデザインは、事務・事業の「J」、十日町の「T」、地域の「T」のアルファベット頭文字を表し、事務・事業は管内市町ですべき一部事務を当組合で処理することを意図しています。

また、楕円は地域がスクラムを組んで連携強化を図り、外側の円は地域住民生活の安全と豊かさを守ることを表現したものです。

十日町消防エンブレムマーク



エンブレムマークの由来

エンブレム中央上部に雪の結晶を配し、消防の象徴であるホースとロープ及び炎を周囲に配しました。

雪の結晶は、豪雪地帯である十日町広域の旧6市町村を意味し、その周囲をホースとロープで囲むことにより、地域を守る消防をアピールしています。またロープの色は、十日町市に出土した国宝の縄文式土器の縄の茶色とし、黄色の下地はコシヒカリの稲穂をイメージしたものです。

消防、救急をはじめ、災害の形態が多種多様化している中、このエンブレムをつけることにより、多種多様な災害や課題に対して、団結力を強め、積極的に対応していく組織となるよう平成20年4月1日に制定されました。



岩手県大船渡市山林火災に伴い
緊急消防援助隊出動

(令和7年2月27日～3月10日)



新潟県消防救助技術大会において
訓練成果を披露する十日町消防の隊員
(ロープブリッジ救出)



耐熱服を着装しての放水訓練

この消防年報は、令和6年中の十日町地域広域事務組合の主要な消防業務と現有消防力全般にわたる事項を収録し、消防状況の逐年傾向を把握するため、特に必要なものについては、過去にさかのぼり累年表を加え編集しました。

各表は、主に令和6年1月から令和6年12月までの1年間を統計し、これによらない表や単位については、必要に応じて各表の上部に記載しました。

INDEX

もくじ

十日町地域広域事務組合の位置・地勢	4
面積・人口・世帯数	4
十日町地域広域事務組合消防のあゆみ	5
十日町地域広域事務組合消防災害年表	11
歴代管理者・消防長	14
十日町地域消防本部の機構図	15
消防本部・消防署・分署配置図	16

【 総 務 編 】

1 消防庁舎等の現況	17
2 消防費予算状況	17
3 過去5年間の消防費決算状況	18
4 人口、世帯に対する消防吏員、 団員、ポンプ車の割合	18
5 基準消防力と現有消防力の比較（常備分）	18
6 消防職員の階級別配置状況	19
7 消防職員の階級別勤続状況	19
8 消防職員の階級別年齢調	19
9 消防職員の消防学校等教育受講状況	20
10 消防職員採用等の状況	20
11 消防職員退職状況	20
12 給与及び勤務の状況	20

【 警 防 編 】

1 消防機関の出動状況	21
2 市町別救助出動状況	21
3 消防職員一般教育、訓練実施状況	22
4 消防本部・署・分署車両等配置状況	24
5 消防ポンプ車等現有状況	25
6 緊急消防援助隊登録状況	25
7 消防・救急応援協定締結状況	25
8 特殊機械器具現有状況	26
9 消防水利市町別設置状況	28
10 公設消火栓管径別設置状況	28
11 火の見やぐら、消防器具置場設置状況	28
12 令和5年度主な施設等整備状況	29

【 予 防 編 】

1 火災総括表	30
2 市町別火災発生件数	30
3 月別火災発生状況	31
4 過去5年間の時間帯別火災発生状況	31
5 過去5年間の原因別火災発生状況	32
6 過去5年間の火災による死傷者の数	32
7 過去5年間の火災による損害額の状況	32
8 過去5年間の火災発生状況	33
9 建築確認申請用途及び建築通知、 工事別処理状況	34
10 消防用設備等（特殊消防用設備等）着工届・ 設置届受理状況	35
11 防火対象物の状況（棟数）	36
12 中高層建築物の現況（防火対象物）	37
13 防火管理者選任状況	38
14 火災予防条例による届出状況	39
15 危険物製造所等施設状況	39
16 危険物の許可数量と類別	40
17 危険物製造所等の申請届出状況	41
18 危険物施設の許可区分構成比	42
19 危険物施設の市町別構成比	42

【 通 信 編 】

1 消防通信施設状況	43
2 無線電話機設置状況	44
3 消防団無線電話機設置状況	45
4 システム系統図	46
5 通信指令室系統図	47
6 119番等受信状況	48
7 災害情報問い合わせ状況	48
8 口頭指導実施状況	48
9 年間気象状況	49

【 救 急 編 】

1	過去5年間の救急出動件数の推移	50
2	市町別等の救急出場状況	51
3	月別救急出動状況	52
4	搬送人員の区分（年齢区分・ 傷病程度・事故種別）	53
5	搬送先医療機関の状況（休日・昼夜別）	54
6	転院搬送人員	55
7	覚知時間帯別救急出動件数	56
8	覚知曜日別救急出動件数	56
9	現場到着所要時間別出動件数	56
10	医療機関収容所要時間別搬送人員	56
11	搬送人員の性別割合	56
12	ドクターヘリの状況	56
13	救急救命処置の実施状況等	57
14	心肺停止症例に関連する数値	57
15	応急手当普及啓発講習の状況	57

【 消 防 団 編 】

1	歴代消防団長・方面隊長	58
2	消防団員の報酬（年額）	59
3	消防団員の出勤手当	59
4	消防団員の退職報償金受給状況	60
5	消防団員の配置状況（実員）	60
6	消防団員の新任状況	60
7	消防団員の退職状況	60
8	消防団員の職業別状況	61
9	消防団員の勤続状況	62
10	消防団員表彰状況	63
11	消防団員の年齢状況	64
12	消防団の出動状況	66
13	消防団員一般教育訓練、訓練実施状況	66
14	消防団車両・ポンプ一覧表	67
15	消防団小型動力ポンプ一覧表	68
16	消防団幹部名簿	69

■管内位置図



■十日町地域広域事務組合の位置・地勢

この圏域は新潟県の南西部に位置し、東西 32 km、南北 43km の広がりを持ち、総面積は 760.6km²で新潟県の 6.1%を占める地域です。周囲は長岡圏、柏崎圏、上越圏、魚沼圏及び長野県の北信圏に隣接し、圏域の東側は、魚沼圏との境界の山脈台地に標高 2,145mの苗場山を中心とする山岳地帯に連なり、西側は上越圏との境界に標高 540mの鍋立山があります。河川は、圏域の中央部を信濃川が長野県境より北に貫流し、県の主要な河川である澁海川、清津川、中津川等が流れ、圏域の最南東部は清津峡をはじめとして、上信越高原国立公園に指定されているほか、信濃川によってもたらされた雄大な河岸段丘は変化に富んで美しい自然環境をなしています。



■面積・人口・世帯数

管内各市町村の現状をお知らせいたしますので、調査等の参考にしてください。

区 分	面 積 (Km ²)	令和2年国勢調査(確定)		令和7. 3. 31基準		令和6. 12. 31基準		令和5. 12. 31基準	
		人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数
十日町市	590.39	49,820	18,012	46,646	19,296	47,126	19,372	48,132	19,464
十日町地域	212.77	—	—	32,758	13,490	33,093	13,548	33,755	13,573
川西地域	73.55	—	—	5,433	2,154	5,476	2,152	5,603	2,167
中里地域	128.97	—	—	4,380	1,736	4,440	1,745	4,526	1,756
松代地域	90.47	—	—	2,502	1,160	2,539	1,173	2,617	1,202
松之山地域	86.31	—	—	1,573	756	1,578	754	1,631	766
津 南 町	170.21	8,989	3,119	8,374	3,405	8,865	3,453	8,865	3,453
合 計	760.60	58,809	21,131	55,020	22,701	55,991	22,825	56,997	22,917

十日町地域広域事務組合消防のあゆみ

昭和47年		6月 1日	日赤救急車(トヨタコムーター)を津南分遣所に配置
4月20日	十日町地域広域事務組合設立許可(県知事)		
	4 市町村(十日町市、川西町、津南町、中里村)で、と畜場、福祉センター事務を共同処理		
4月24日	十日町地域広域市町村圏協議会の事業として、昭和 48 年 4 月を目標に一部事務組合方式で広域消防の実施が決定(広域市町村圏振興整備計画)	昭和51年	1月31日 県単補助事業により泡放射砲購入本署に配置
		3月20日	中里村消防団車庫兼詰所竣工
10月11日	広域消防に関する消防本部・署設置義務政令指定申請書を、県を通じ自治省に提出	6月16日	十日町市消防後援会から軽自動車の寄贈を受け連絡車として本署に配置
昭和48年		昭和52年	2月28日 ドア付消防車(ニッサンパトロール)購入本署に配置
4月 1日	十日町地域広域事務組合規約変更県知事許可により、既設十日町市消防本部・署を廃止し組合消防本部・署、消防団 4 団を設置 1 本部 1 署(職員 49 人)、4 団(団員 3,237 人) 機械施設等は十日町市消防本部・署、各市町村消防団施設を引き継ぎ、広域消防業務開始 警防課へ救急係を新設	4月 1日	職員 3 人退職、1 人採用(総員 70 人) 総務課に中里詰所を新設
		6月14日	本署日赤救急車更新(ニッサンシビリアン)
4月 5日	自治省告示第 74 号により、川西町、津南町、中里村に消防本部・署、設置義務に関する政令指定	昭和53年	4月 1日 職員 3 人退職、6 人採用(総員 73 人) 予防課救急係を警防課へ移管
9月 1日	職員 16 人採用増員(総員 65 人)	昭和54年	3月28日 救助工作車(ニッサンコンドル)購入本署に配置
10月 1日	川西、津南両分遣所が職員各 9 人で業務開始 消防ポンプ自動車(ニッサン)購入川西分遣所に配置	4月 1日	職員 3 人採用、津南分遣所 15 人体制(総員 76 人)
10月23日	県単補助事業により救急車(トヨタコムーター)購入本署に配置	7月30日	津南分遣所指令車(トヨペットクラウン)更新
10月25日	消防ポンプ自動車(ニッサン)購入津南分遣所に配置	昭和55年	3月28日 消防本部に救急医療情報システム端末設備設置(県委託)
11月 1日	日本自動車工業会から救急車(トヨタコムーター)の寄贈を受け川西分遣所に配置	4月 1日	通信救急課と通信係を新設、救急係を警防課から通信救急課へ移管
11月 9日	川西分遣所庁舎竣工(川西町霜条地内)	5月19日	中里村に消防連絡車(ニッサンブルーバード)配置
11月20日	津南分遣所庁舎竣工(津南町正面地内)	6月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 76 人)
		6月 9日	日赤からⅢB型救急車(ニッサンシビリアン)の寄贈を受け川西分遣所に配置
昭和49年		7月15日	本署に指令車(トヨペットクラウン)配置
5月 1日	職員 4 人採用、分遣所各 11 人(総員 69 人)	8月 1日	新潟県消防学校へ 1 人教官派遣(4か月)
6月 1日	総務課庶務消防団係を庶務係と消防団係へ分割、予防課を新設し警防課予防係と救急係を予防課へ移管	10月 5日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(トヨタランドクルーザー)の寄贈を受け本署に配置
6月29日	自治省告示第 131 号により、川西町、津南町、中里村救急業務に関する政令指定		
10月 4日	十日町地域消防本部・署庁舎竣工 (十日町市川治内後地内)	昭和56年	4月 1日 職員 1 人退職、3 人採用(総員 78 人)
10月14日	消防本部にC型緊急指令装置、構内電話交換設備設置工事完了	8月 1日	川西分遣所 2 人増員し 15 人体制
10月26日	指令車(マツダルーチェバンデラックス)の寄贈を受け川西分遣所に配置	9月 3日	本署に連絡車(スズキジムニー)配置
		昭和57年	3月 3日 十日町地域消防本部、津南町消防団が消防庁長官から竿頭授受章
昭和50年		4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 78 人)
5月 1日	職員 3 人増員、分遣所各 13 人(総員 72 人)		

6月11日	本署に気象観測収録装置設置	昭和62年	
7月23日	本署日赤救急車(ニッサンシビリアン)更新	1月 1日	本署に救助分隊を編成
11月17日	津南町消防団が水防功労により北陸地区治水会から表彰される	4月 1日	通信救急課廃止し、警防課へ通信係と救急係統合
12月14日	本署連絡車(スバルレックス)更新	8月 3日	本署日赤救急車(トヨタ 4WD)更新
昭和58年		10月14日	本署泡放射砲積載車(三菱キャンター4WD)更新
4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 78 人)	昭和63年	
5月14日	本署指揮連絡車(スバルレオーネ)更新	8月 7日	第 39 回新潟県消防大会を十日町市で開催(ポンプ車操法の部で十日町市消防団優勝)
6月 1日	十日町市消防団、災害の発生防止、復旧事業促進の功により全国防災協会から表彰される	8月26日	日本消防協会から指令広報車(三菱ランサーバン DX)の寄贈を受け津南分遣所に配置 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車(トヨタハイエース)の寄贈を受け川西町消防団に配置
6月 5日	十日町市消防団、水防功労により信濃川・魚野川水防連絡会から表彰される	10月12日	第 11 回全国消防操法大会(於:横浜市) 十日町市消防団第 16 分団がポンプ車操法に出場
8月 2日	津南分遣所日赤救急車(ニッサンキャラバン)更新		
9月 9日	川西分遣所指揮連絡車(ニッサンダットサン)更新	平成元年	
12月 9日	本署訓練塔建設工事竣工	3月20日	本署屈折はしご付消防ポンプ自動車更新(30m級はしご付消防自動車〔東急メッツDL30h 型〕)
昭和59年		4月 1日	職員 4 人退職、4 人採用(総員 81 人) 予防課へ危険物係を新設 新潟県消防学校へ 1 人教官派遣(6 か月)
1月14日	本署化学車更新、旧化学車津南分遣所へ配置換え	7月28日	本署指令車(ニッサングロリア)更新
2月10日	中里村消防団、日本消防協会から表彰旗受章	8月20日	第 40 回新潟県消防大会(於:朝日村) 小型ポンプ操法の部で中里村消防団優勝
3月25日	広域事務組合発足 10 周年記念式典挙行	12月10日	本署訓練塔補強増設
4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 78 人)	12月22日	本署消防ポンプ自動車 2 号車(三菱キャンター 4WD A-2 級)更新
4月18日	職員 1 人退職(総員 77 人)	平成 2年	
11月 6日	津南分遣所消防ポンプ自動車(ニッサンサファリ A-2 級)更新	2月14日	川西町消防団、日本消防協会から表彰旗受章
12月17日	中里村消防団、消防庁長官から災害現場功労表彰受章	3月20日	緊急指令装置Ⅱ型(NEC)更新
昭和60年		4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 81 人)
2月 8日	十日町市消防団、日本消防協会から竿頭授受章	6月30日	職員 1 人退職(総員 80 人)
4月 1日	職員 4 人採用(総員 81 人) 地域消防史編纂プロジェクトチーム編成 総務課中里詰所を廃止し、中里消防係新設	9月 7日	津南分遣所救急車(ニッサンホームー4WD)更新
9月 1日	中里村消防団、災害現場功労により内閣総理大臣から表彰される	10月27日	第 1 回消防ひろば開催
9月 2日	川西分遣所消防ポンプ自動車(イスズエルフ A-2 級)更新	12月20日	緊急情報システム、無線統制台設置
昭和61年		12月27日	本署消防ポンプ自動車 3 号車(三菱キャンター 4WD A-2 級)更新
4月 1日	職員 3 人退職、3 人採用(総員 81 人)	平成 3年	
8月 7日	川西分遣所日赤救急車(イスズファエーゴ 4WD)更新	2月28日	職員 1 人退職(総員 79 人)
12月10日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 81 人)	3月 6日	中里村消防団、消防庁長官から竿頭授を受章
		4月 1日	職員 1 人退職、5 人採用(総員 83 人)

8月 1日	職員 1 人採用(総員 84 人)	平成 9年 3月24日	津南分遣所を卯ノ木地内に移転・新築竣工
平成 4年 3月25日	本署救助工作車(Ⅱ型三菱ふそう 8t級)更新	4月 1日	国のモデル広域指定を受け、本部・署の組織を一部変更し東頸城郡松代・松之山両町の消防事務を共同処理することとなり、1 市 4 町 1 村で構成する新たな広域消防業務を開始 上越地域消防事務組合から東頸消防署松代分遣所・松之山分遣所の施設、車両等の譲渡を受け、名称を「十日町地域消防署松代分遣所・松之山分遣所」として編入 津南分遣所は卯ノ木地内に庁舎を新築し中里詰所との機能統合を図り「十日町地域消防署南分署」とし、川西分遣所は「西分署」と改称 新たに職員 23 人を採用(うち派遣職員 5 人) 松代・松之山両町消防団の機械施設等を引き継ぎ、消防団 2 団を編入 1 本部 1 署 2 分署 2 分遣所、6 消防団(職員 113 人、消防団員 3,156 人)体制
4月 1日	職員 2 人退職、3 人採用(総員 85 人)		
6月15日	中里詰所連絡車更新(スバルレガシー 4WD)		
8月25日	消防だより「火の用心」創刊号を発行		
12月29日	十日町市消防団本部分団に資機材搬送車(ダイハツハイゼット 4WD)配置		
平成 5年 3月25日	津南分遣所消防ポンプ自動車(三菱キャンター 4WD A-2 級)更新		
4月 1日	職員 4 人採用(総員 89 人) 完全週休二日制(週 40 時間勤務)実施 消防署の勤務体制を三交替制とし試行開始 総務課文書広報係、警防課訓練救助係新設		
6月 4日	本署指令 2 号車(スズキエスクード)更新		
8月 5日	川西分遣所日赤救急車(トヨタハイエース 4WD)更新		
8月25日	川西分遣所指揮連絡車(トヨタランドクルーザー 4WD)更新		
9月 1日	十日町地域広域事務組合 20 周年記念事業として、組合章、組合旗、マスコットマーク制定		
10月 1日	広域事務組合発足 20 周年記念事業として記念誌「鎮(しずめ)」発行		
平成 6年 4月 1日	職員 2 人退職、1 人採用(総員 88 人)		
5月31日	職員 1 人退職(総員 87 人)		
7月28日	本署救急 1 号車(トヨタアンビュランス 4WD)更新		
8月 1日	職員 2 人採用(総員 89 人)		
8月26日	本署連絡 2 号車(三菱ミニキャブ 4WD)更新		
9月30日	川西分遣所庁舎増改築工事竣工		
10月27日	本署訓練場造成工事竣工		
平成 7年 3月 3日	川西町消防団、消防庁長官から竿頭綬を受章		
4月 1日	職員 1 人採用(1 人退職、総員 89 人)		
11月 1日	職員 1 人採用(総員 90 人)		
12月25日	本署連絡 1 号車(ニッサンホームー)更新		
平成 8年 2月14日	本署化学車(Ⅱ型イズフオワード 4WD)更新		
4月 1日	職員 3 人退職、3 人採用(総員 90 人) 家畜指導診療所が組合へ編入 組合総務課事業係を廃止		
12月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 90 人)		
		平成 10年 1月25日	西分署消防車(ニッサンアトラス A-2 級)更新
		3月31日	日本自動車工業会から高規格救急車(トヨタ HIMEDIC 型)の寄贈を受け本署に配置
		4月 1日	職員 2 人退職、5 人帰属、7 人採用(総員 113 人)
		11月26日	南分署救急車(トヨタアンビュランスⅡ-B型 4WD)更新
		平成 11年 4月 1日	職員 2 人採用(2 人退職、総員 113 人)
		6月11日	十日町ライオンズクラブから赤バイ 2 台(ヤマハ セロー 225)の寄贈を受け本署に配置
		6月30日	松代分遣所査察広報車(ニッサンウイングロード 4WD)更新
		12月16日	松代分遣所救急車(トヨタグランビアⅡ-B型 4WD)更新
		平成 12年 1月17日	松之山分遣所消防車(三菱キャンター CD-I 型 4WD)更新

上越地域消防事務組合から譲渡を受けた車両	
＜松代分遣所＞	
消防車	(イズベルフ 250 スーパー)
救急車	(トヨタハイエース)
指揮連絡車	(スズキジムニー)
＜松之山分遣所＞	
消防車	(ニッサンサファリ)
救急車	(トヨタハイエース)
指揮連絡車	(スズキエブリー)

4月 1日	職員 6 人退職、6 人採用(総員 113 人) 組合総務課と畜場を閉場	8月12日	十日町ロータリークラブから救急訓練人形 7 体 寄贈を受ける
6月 1日	十日町大火 100 周年記念総合防災訓練実施 「消防史」発行	10月28日	本署に指揮車(マツダボンゴ)を配置
7月19日	本署指令車(ニッサンセドリック 4WD)更新 インパルス(新消火システム)2 台配備	11月28日	日本損害保険協会から高規格救急車(トヨタ HIMEDIC 型)の寄贈を受け南分署に配置
8月21日	分署日赤救急車(トヨタグランビアⅡ-B型 4WD)更新	平成18年	
平成13年		4月 1日	職員 3 人退職、3 人採用(総員 115 人) 新潟県消防学校教官派遣解除 予防課へ査察指導係を新設、警防課通信指令 室を総務課へ移管、警防課救急救助係を廃止 し、救急係と救助装備係を新設
4月 1日	職員 4 人採用(3 人退職、総員 114 人) 新潟県消防防災航空隊へ 1 人派遣(2 年間) 警防課へ通信指令室を設置	4月10日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 115 人)
7月18日	松代分遣所消防車(日野CD-Ⅰ型 4WD)更新	10月 1日	十日町市消防団女性部発足 (入団 14 人)
7月26日	本署救急 2 号車(トヨタグランビアⅡ-B型 4WD) 更新	12月19日	本署消防 1 号車(日野CD-Ⅰ型 4WD)更新 ※緊急消防援助隊仕様
8月22日	南分署指令 1 号車(ニッサンウイングロード 4WD)更新	平成19年	
平成14年		4月 1日	職員 3 人退職、3 人採用(総員 115 人) 組合企画振興課を廃止し総務課へ企画振興係 新設 総合福祉センターを津南町へ移管
4月 1日	職員 4 人退職、4 人採用(総員 114 人)	4月 6日	新潟県消防職員意見発表会(於:佐渡市)で最 優秀賞を受賞
8月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 114 人)	11月29日	本署救急 1 号車(トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様、高規格救急車
平成15年		平成20年	
2月 7日	十日町市消防団、日本消防協会から特別表彰 「まとい」受賞	2月12日	十日町市消防団十日町方面隊本部分団第2部 第 1 班「防火幕」の歴史に幕、多目的災害対応 班へ
4月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 114 人) 新潟県消防防災航空隊派遣解除	2月29日	十日町市消防団が日本消防協会から防災活動 車(ダイハツハイゼット)の寄贈を受け、十日町 連絡 3 号車とし本署に配置
平成16年		3月21日	十日町市消防団十日町方面隊本部分団のポン プ自動車(日野 CD-Ⅰ型 4WD)更新
2月 1日	広域事務組合発足 30 周年記念事業として記念 誌「鎮(しずめ)」発行	4月 1日	職員 8 人退職、8 人採用(総員 115 人) 警防課警防施設係と救助装備係を統合し、警 防係新設、警防課訓練指導係を廃止し救助係 新設
2月26日	十日町地域メディカルコントロール協議会設立	7月 1日	平成 19 年度退職者から十日町地域消防本部・ 署旗の寄贈を受ける
4月 1日	職員 3 人退職、2 人採用(総員 113 人) 新潟県消防学校へ 1 人教官派遣(2 年間)	8月 3日	第 59 回新潟県消防大会を十日町市で開催
7月13日	平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨 新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要 請、災害派遣人員 37 人(三条市ほか)	10月27日	新潟県立十日町病院と救急現場における救急 業務に関する協定書締結
平成17年		平成21年	
4月 1日	5 市町村(十日町市、川西町、中里村、松代町、 松之山町)が合併し、新十日町市誕生 合併に伴い旧市町村消防団を統合し、十日町 市消防団 5 方面隊体制とした 職員 7 人採用(5 人退職、総員 115 人) 総務課文書広報係、警防課警防係、機械係、 救急係、訓練救助係を廃止し、警防装備係、救 急救助係、訓練指導係を新設	2月 5日	本署消防 2 号車(日野 CD-Ⅱ型 4WD CAFS 搭載)更新 ※緊急消防援助隊仕様
5月20日	高機能消防指令センター(Ⅰ型)運用開始	3月23日	消防団協力事業所表示制度を導入 (認定事業所表示証交付式開催)
7月28日	松之山分遣所日赤救急車(トヨタグランビアⅡ- B型 4WD)更新		

4月 1日	職員 5 人退職、6 人採用(総員 116 人) 津南町消防団女性部発足(入団 10 人) 総務課通信指令室を警防課へ移管、企画広報係新設、警防課救助係を廃止し消防署防災救助係新設	平成26年 4月 1日	職員 4 人採用(職員 2 人退職、総員 116 人) 南分署 3 人増員(20 人)、西分署 3 人減員(13 人) 消防庁舎建設準備室を建設事業室へ名称変更
9月20日	「消防ひろば」が 20 回を迎える	11月14日	消防救急デジタル無線局舎、十日町市堀之内城山地内に竣工
11月24日	西分署日赤救急車を高規格救急車(トヨタハイエース)に更新	平成27年 4月 1日	職員 5 人採用(職員 6 人退職、総員 115 人) 新潟県消防防災航空隊へ 1 人派遣(3 年間)
12月10日	泡放射砲積載車を廃車し、資機材搬送車(日野レンジャー4WD)を本署に配置	10月31日	新消防本部庁舎、四日町新田地内に竣工
平成22年 4月 1日	職員 5 人退職、5 人採用(総員 116 人) 新潟県消防学校へ 1 人教官派遣(2 年間) 消防本部総務課に消防庁舎建設準備室、企画事業係を新設	平成28年 1月29日	本署化学車(日野レンジャー)更新 ※緊急消防援助隊仕様
4月15日	本署救急2号車(高規格救急車、トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様	3月31日	川治内後地内の消防本部と霜条地内の西分署を閉庁 総務課消防庁舎建設事業室を廃止
8月25日	総務省消防庁から多目的防災活動車貸与。十日町市消防団十日町方面隊本部分団へ配置	4月 1日	新消防本部庁舎運用開始(四日町新田地内) 職員 1 人退職、1 人採用(総員 116 人) 消防救急無線のデジタル化運用開始 総務課庶務広報係を廃止し庶務係と企画広報係新設、警防課救急管理係を廃止し警防課救急室と救急係新設、消防署救急救助課と救急指導係廃止
10月28日	松之山分遣所救急車(高規格救急車、トヨタハイエース)更新 ※緊急消防援助隊仕様	5月 2日	十日町地域救急ステーション運用開始 (県立十日町病院内)
平成23年 4月 1日	職員 3 人採用(職員 5 人退職、総員 114 人) 松代・松之山分遣所を統合、十日町市松之山小谷地内に「しぶみ分署」を開署し、業務を開始(分署長・副分署長・当直各 5 人体制) 警防課救急係を廃止し救急管理係新設、消防署へ救急救助課と救急指導係新設、総務課庶務係と企画広報係を廃止し庶務広報係新設	11月 2日	南救急 1 号車(トヨタ ハイエース)更新
11月 9日	十日町地域消防本部、東日本大震災において現場での救急救助活動などの功績により、総務大臣表彰受賞	12月26日	連絡 2 号車廃車に伴い川西方面隊中仙田積載車(日産アトラス)を本署に所管替え、連絡 2 号車とする
11月25日	十日町市消防団、平成 23 年新潟・福島豪雨に際し水防活動の功績により、国土交通大臣表彰受賞	12月31日	消防署訓練塔竣工
11月26日	本署指揮連絡 1 号車(トヨタハイエース)更新	平成29年 2月22日	本署指令車(トヨタ エスクァイア)更新
平成24年 4月 1日	新潟県消防学校教官派遣解除 職員 4 人退職、4 人採用(総員 114 人)	3月13日	職員 1 人退職(総員 115 人)
12月 7日	本署救助工作車(日野レンジャー)更新 ※緊急消防援助隊仕様	4月 1日	職員 6 人退職、5 人採用(総員 114 人)
平成25年 4月 1日	職員 3 人採用(職員 3 人退職、総員 114 人)	10月 6日	本署救急 1 号車(トヨタ ハイエース)更新
7月 1日	職員 1 人退職に伴い 1 人採用(総員 114 人)	11月16日	十日町はしご 1 号車(日野屈折はしご付消防ポンプ自動車)更新
9月 1日	新潟県・十日町市総合防災訓練を十日町市で開催	平成30年 4月 1日	新潟県消防防災航空隊派遣解除 職員 1 人退職、2 人採用(総員 115 人) 南分署 3 人増員(23 人)、小隊体制とし警防分隊と救急分隊を編成、しぶみ分署 3 人減員(14 人)
10月28日	広域事務組合発足 40 周年記念事業として講演会を開催し、記念誌「鎮(しずめ)」を発行	7月 1日	職員 1 人退職、1 人採用(総員 115 人)
		8月 1日	(株)玉垣製麺所と災害等における物資の供給に関する協定を結ぶ

平成31年	
4月 1日	職員 5 人退職、5 人採用(総員 115 人) 救急ステーション救急 3 号車(トヨタハイエース) 更新
令和元年	
7月 1日	一般財団法人ドローン普及協会と「災害時における無人航空機による支援協力に関する協定」を締結
9月 8日	「消防ひろば」が 30 回を迎える
12月 3日	指揮車(災害対応特殊消防車、トヨタハイエース)更新
12月 6日	職員1人退職(総員114人)
令和 2年	
4月 1日	職員7人退職、5人採用、2人再任用(総員114人)
11月30日	十日町地域消防ヘリポート竣工
12月 5日	消防だより「火の用心」100号発行
12月17日	しぶみ救急 1 号車(トヨタ ハイエース)更新
令和 3年	
4月 1日	職員 4 人退職、3 人採用、1 人再任用(総員 115 人) 十日町地域消防ヘリポート運用開始
12月 5日	一般財団法人オフロードビークル協会と「災害時におけるオフロードビークルを活用した支援協力に関する協議書」を締結
令和 4年	
3月24日	十日町救急 2 号車(日産 パラメディック)更新
4月 1日	職員 3 人退職、2 人採用(総員 114 人)
令和 5年	
4月 1日	職員 3 人退職、1 人採用、1 人再任用(総員 113 人)
10月 3日	十日町地域広域事務組合発足 50 周年記念事業として講演会を開催し、記念誌「鎮(しずめ)」を発行
令和 6年	
3月15日	十日町地域消防署南分署改修工事終了(竣工)
4月 1日	職員 1 人退職、2 人採用、1 人再任用(総員 114 人)
令和 7年	
4月 1日	職員 5 人退職、3 人採用(総員 112 人)

十日町地域広域事務組合消防災害年表

昭和49年 1月23日	豪雪による飯山線不通のため、消防団57人が除雪の応援に出動	9月12日	台風18号により清津川が増水、13日に清津川橋が崩落し国道117号線が通行止めとなる。また国道405号線樽田、小島間で土砂崩れ、信濃川付近の集落小島・巻下・足滝・反里の堤防が決壊
昭和51年 1月21日 1月22日 4月15日	上郷の信濃川にかかる吊り橋が雪の重みで中央部から切れる、通行中の1人は無事 雪崩のため秋山郷の80戸が停電 信越県境、田沢と鹿渡間で大規模な雪崩が発生 下条平地内で融雪水と降雨による土砂崩れ 幅10m、長さ15m、厚さ2m、約300 m ³	9月13日 昭和58年 9月26日 9月30日	台風18号により信濃川の出水、信濃川堤防の被害が発生 台風10号による豪雨のため各地で河川が氾濫 台風10号による信濃川出水、下島地内で堤防決壊15m、作業中の消防団員1名死亡
12月	豪雪により災害救助法が適用 最大積雪深 3m14cm、負傷者11名	11月	豪雪により災害救助法適用 最大積雪深 3m63cm 死者6名、負傷者1名 避難勧告15世帯 豪雪対策本部設置
昭和52年 2月14日 3月14日	飯山線越後田中と津南間で雪崩が発生し、列車が乗り上げて1両が脱線する 横手の県道で地滑りが発生、約30mにわたって根こそぎ流され、903戸が停電	昭和59年 1月28日 2月7日	県災害救助条例適用、対象22世帯 災害救助法の適用、対象22世帯 雪崩災害危険による避難勧告、1世帯2人
昭和53年 2月5日 6月26日	清津峡で雪崩、旅館を直撃、1棟全壊 信濃川支流が増水決壊。国県道、鉄道が不通、水害対策部設置	2月9日 12月	清津峡温泉で大規模な雪崩発生、温泉旅館2棟全壊、3棟損壊、死者5名、負傷者2名 豪雪により災害救助法適用 最大積雪深 2m95cm 死者1名、負傷者13名 豪雪対策本部設置
昭和54年 9月18日	駒返で火災、放火により工場併用住宅1棟全焼、焼死者4名、負傷者1名	昭和60年 7月7日 8日 11月	8日0時から12時までの降水量が104mmに達し、鉢で土砂崩れが発生 豪雪により県災害救助条例適用 最大積雪深 3m24cm 死者1名、負傷者6名 雪崩被災箇所警戒
昭和55年 2月17日 3月8日 4月7日 12月	所平の町道で雪崩が発生、車両1台大破 樽沢地内で土砂崩れ発生、作業小屋と自動車5台が大破、4月2日までに5回土砂崩れ発生 六箇二ツ屋地内で土砂崩壊、羽根川をふさぎ県道を超えて住宅2棟全壊 豪雪により災害救助法適用 最大積雪深 3m74cm 死者1名、負傷者1名 避難勧告13世帯 豪雪対策本部設置	昭和61年 1月27日 5月1日	願入地内で雪崩により牛舎崩壊 川治内後でキャブタイヤケーブルの短路から火災、住宅及び作業所3棟全焼、2棟部分焼
昭和56年 1月23日 2月12日	豪雪に関連した事故により3名死亡、雪崩災害危険による避難勧告、8世帯37名 飯山線津南駅近くで雪崩、運航中の列車が脱線、乗客17名は無事	平成2年 12月27日 平成4年 12月27日	本町4丁目の複合用途防火対象物でビル火災発生、はしご車が出動し1棟部分焼 上郷地区で地震、M4.5の揺れで学校や民家に被害(当時は震度計未設置)
昭和57年 4月15日	野中地内で融雪により土砂が約2500 m ³ 移動、家屋一部破損	平成6年 4月8日	関根第2地内の十日町スキー場で土砂崩れ発生、市道通行不能

平成 7年 5月16日 7月11日 7月17日 平成 8年 2月 1日 平成13年 1月4日 平成16年 7月13日 10月23日 平成17年 10月25日 平成18年 1月 6日 1月12日	樽沢地内で土砂崩れ発生、市道通行不能 梅雨前線により市内全域に大雨が降り、信濃川警戒水位を 78cm 上回り、河川敷が冠水する、一部市道が通行止めになり、停電(津池、大池、赤倉地区)も起きた。 堤防の決壊 1 カ所 溜池の越水 1 カ所 床下浸水 11 戸 土砂崩れ 3 カ所 土砂崩れのため住宅 1 戸一部に損害 伊友地内大雨で曾根川の堤防が決壊、木落地内で川が増水し町道が決壊 大雪のため、県市道が一部交通止め、路線バス・鉄道も一時運転を見合わせる 塩ノ又地区が孤立集落となる、県災害救助条例適用 最大積雪深 3m30cm 負傷者 5 名 中越地方を中心とする最大震度5弱の地震で、家屋や公共物に被害 平成16年7月新潟・福島豪雨 新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣人員37人(三条市ほか) 新潟県中越地震 午後5時56分中越地方を最大震度7の激震が襲う(十日町地域管内では最大震度6強) 断続的に余震が続き、同年12月28日までの間に有感地震は877回を超えた ▼消防本部震災体制 消防計画における地震第二次配備体制自動発令、消防本部震災指揮本部の設置 本署 79 人、西分署 12 人、南分署 8 人、松代分遣所 6 人、松之山分遣所 6 人の体制で、交替で休憩をとりながら 24 時間勤務 10 月 29 日 17 時から 12 月 17 日 17 時まで順次勤務体制を変更して非常体制を継続し、その後通常体制に移行 ▼災害発生状況(10/23～10/31) 火災件数 十日町市 2 件 救助件数 十日町市 4 件、松代町 1 件 救急件数 267 件 樽沢集落が、中越地震から1年ぶりに避難指示解除 豪雪により災害救助法適用(十日町市、津南町) 平成 18 年豪雪の各地最高積雪	2m77cm (消防本部) 3m13cm (十日町試験地) 3m62cm (津南町役場) 4m42cm (松之山支所) 平成19年 7月16日 新潟県中越沖地震 午前 10 時 13 分、上中越沖を震源とする M6.8 の地震が襲う 柏崎地域を中心に甚大な被害が発生(十日町地域管内最大震度 5 強) ▼震災警防本部の設置 新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請 救助工作車、ポンプ車、タンク車、高規格救急車、泡放射砲積載車にて出動 10 日間で 16 隊、延べ 63 人が活動にあたる ▼災害出動状況(7 月 16 日発災当日) 消防署 19 台 108 人 消防団 48 台 175 人 平成23年 1月 豪雪により災害救助法適用(十日町市、津南町) 平成 23 年豪雪の各地最高積雪 1月31日 3m10cm(津南町役場) 1月 1日 2m52cm(消防本部) 2m90cm(十日町試験地) 3m69cm(松之山支所) 3月11日 東北地方太平洋沖地震 午後 2 時 46 分宮城県沖を震源とする M9.0 の地震が発生、東北地方を中心に甚大な被害 新潟県緊急消防援助隊として、救急隊 3 人、救急支援隊 2 人が宮城県石巻市に出動、第8、10、13 次隊にわたり、延べ17 人を派遣、十日町病院DMATチーム(医師 1 人、看護師 1 人、連絡調整員 1 人)の搬送として、連絡 1 号車で隊員 2 人が福島医大へ出動、福島県内の入院患者を新潟県内の医療機関へ搬送するため、新潟県相互応援協定に基づき新潟県消防学校で患者を引き継ぎ、県内病院へ搬送(3/19～20) 3月12日 新潟・長野県境地震 午前 3 時 59 分、長野県北部を震源とする M6.7 の地震発生。十日町市中里・松代・松之山・津南町で震度 6 弱を観測。同地区を中心に大きな被害を生じる ▼災害出動状況 火災 1 件、救助 7 件、調査 55 件
--	--	--

7月27日	平成 23 年新潟・福島豪雨	▼降り始めからの累計雨量(7/27～7/30) 中心市街地(地域振興局) 493 mm 市内最大雨量(八箇峠) 565 mm ▼1時間の最大雨量 中心市街地(地域振興局) 120 mm ▼市内最大時間雨量(小泉) 121 mm (29 日 19 時 50 分～20 時 50 分) ▼出動状況(7/28～8/2) 消防本部・署の災害出動 82 件 消防本部・署の出動延人員 415 人 消防団の出動延人員 2,057 人	
平成24年			
1月	豪雪により災害救助法が適用(十日町)		
2月	豪雪により災害救助法が適用(津南町)		
	▼平成 24 年豪雪の各地最高積雪 2 月 11 日 2m90 cm(消防本部) 3m02 cm(十日町試験地) 3m29 cm(津南町役場) 4m17 cm(松之山支所)		
5月24日	南魚沼市欠之上地内の八箇峠トンネル工事現場で爆発事故が発生、新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣人員 34 人		
平成25年			
1月	豪雪により災害救助法が適用(十日町市)		
	豪雪により災害救助法が適用(津南町)		
	▼平成 25 年豪雪の各地最高積雪 2月22日 2m54cm(消防本部) 3m88cm(松之山支所) 2月25日 2m89cm(十日町試験地) 2月26日 3m06cm(津南町役場)		
平成27年			
9月 7日	関東・東北豪雨		
9月13日	新潟県緊急消防援助隊として、消防隊 6 人が茨城県常総市に出動		
平成28年			
12月22日	糸魚川市駅北大火発生		
	▼新潟県広域消防相互応援協定に基づく出動要請、災害派遣:消火隊 1 隊(人員 13 人)		
平成30年			
2月14日	豪雪により災害救助法が適用(十日町市)		
	▼平成 30 年豪雪の各地最高積雪 2 月 19 日 1m97cm(消防本部) 2m39cm(十日町試験地) 2m89cm(松之山支所)		
令和元年			
10月13日	台風第 19 号(令和元年東日本台風)		
	新潟県緊急消防援助隊として、消防隊 5 人が長野市に出動		
令和 3 年			
5月 6日	天水越(信越トレイル)で女性が滑落		
		▼5 月 6 日 捜索活動を開始、要救助者らしき人物は発見されるも救助活動が難航 日没を迎えたため、6 日の活動は終了 ▼5 月 7 日 特命隊で救助活動を再開したが、6 日と同様に救助活動が難航 現場の状況を鑑み、現場指揮本部、航空隊と協議の結果、救助活動を断念	
		令和 4 年	
		1月10日	豪雪により災害救助法適用(十日町市)
			▼人的被害 死者 1 人、重症 10 人、軽症 29 人 ▼令和 4 年豪雪の各地最高積雪 1 月 10 日 2m70cm(消防本部) 2m87cm(十日町試験地) 2 月 19 日 3m70cm(松之山支所)
		令和 5 年	
		2月23日	豪雪により災害救助法適用(十日町市)
			豪雪により災害救助法適用(津南町)
			▼人的被害 死者 3 人、重症 9 人、軽症 14 人 ▼令和 5 年豪雪の各地最高積雪 2 月 23 日 1m77cm(十日町試験地) 2 月 24 日 2m76cm(松之山支所)
		令和 6 年	
		1月 1日	能登半島地震
			16 時 10 分石川県能登半島を震源とする M7.6 の地震発生、日本海側を中心に甚大な被害
			新潟県緊急消防援助隊として、石川県輪島市を中心に、第 1、2、3、4 次隊にわたり、延べ 16 人を派遣、県内の他消防本部と協力し、土砂崩れが発生した現場での捜索活動を実施(1/1～1/15)
		令和 7 年	
		2月 9日	豪雪により災害救助法適用(十日町市)
		2月10日	豪雪により災害救助法適用(津南町)
			▼人的被害 死者 7 人、重症 10 人、軽症 29 人 ▼令和 7 年豪雪の各地最高積雪 2 月 21 日 3m62cm(津南町結束連絡所) 2 月 24 日 3m03cm(十日町試験地) 2 月 24 日 4m24cm(松之山支所)
		2月26日	岩手県大船渡市林野火災
			13 時 02 分、岩手県大船渡市赤崎町合足地内において大規模な林野火災が発生、周辺の林野、家屋等に燃え広がり、死傷者も発生。岩手県内の消防力では食い止めることができないほどにまで被害が拡大。
			翌 27 日、新潟県緊急消防援助隊として、岩手県綾里地区を中心に、第 1、2、3、4 次隊にわたり、延べ 16 人を派遣、県内外の他消防本部と協力し、消火活動を実施(2/27～3/10)

■歴代管理者・消防長

十日町地域広域事務組合管理者

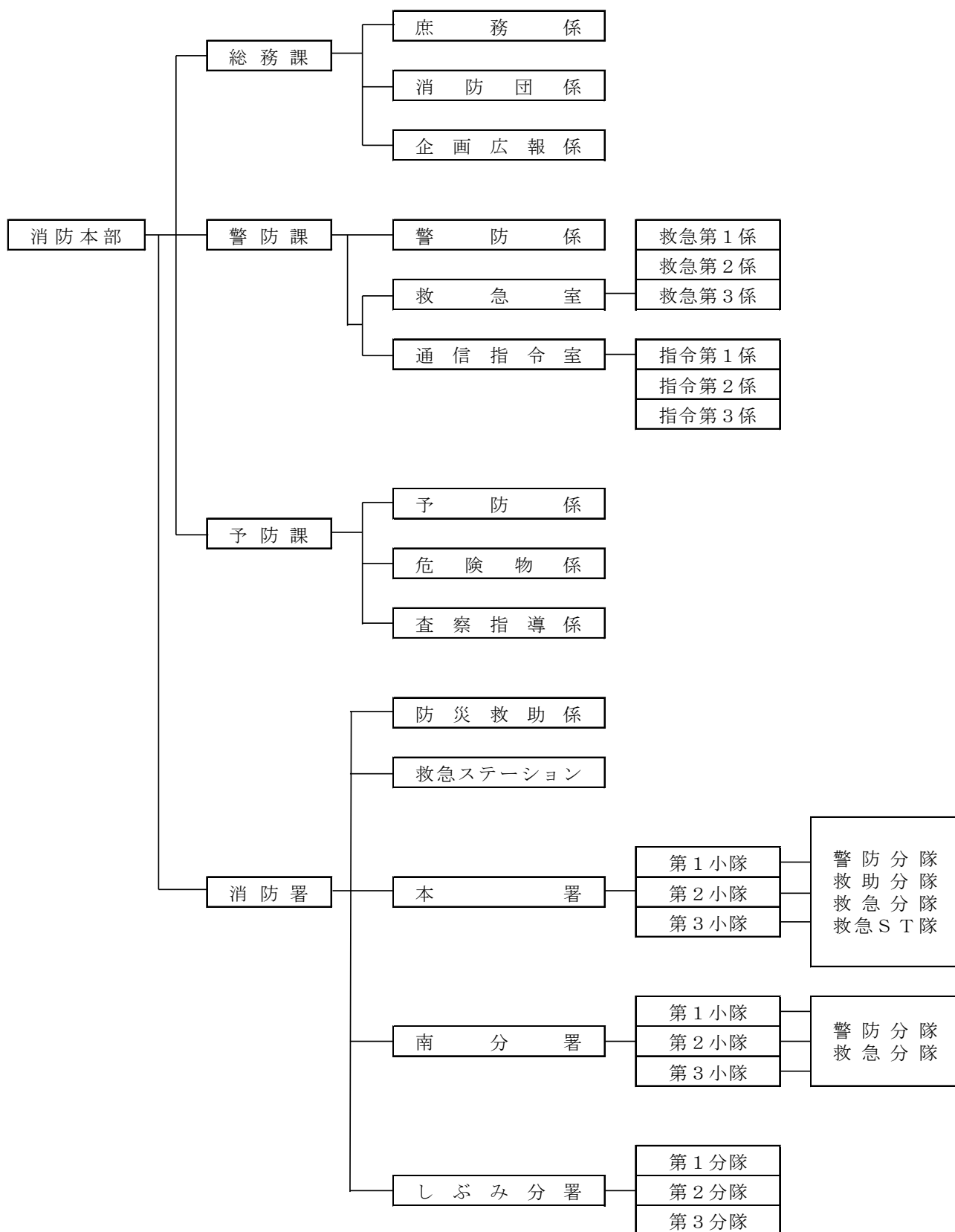
歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	春日由三	昭和48. 4. 1	昭和54. 5. 8	十日町市長
二代	諸里正典	昭和54. 5. 9	昭和60. 11. 30	〃
三代	丸山尚政	昭和60. 12. 15	平成 5. 12. 14	〃
四代	本田欣二郎	平成 5. 12. 15	平成13. 12. 14	〃
五代	滝沢信一	平成13. 12. 15	平成17. 3. 31	平成17年4月1日～30日 職務執行代理者津南町長 小林 三喜男
六代	田口直人	平成17. 5. 1	平成21. 4. 30	十日町市長
七代	関口芳史	平成21. 5. 1		〃

十日町地域広域事務組合消防長

歴代	氏名	就任	退任	備考
初代	菅村新蔵	昭和48. 4. 1	昭和48. 7. 5	昭和38年4月1日～昭和48年3月31日 十日町市消防長
二代	春日由三	昭和48. 7. 6	昭和53. 3. 31	組合管理者
三代	上村安輝	昭和53. 4. 1	昭和55. 3. 31	
四代	開発一郎	昭和55. 4. 1	昭和57. 3. 31	
五代	牧野健	昭和57. 4. 1	平成 2. 3. 31	
六代	田村猛	平成 2. 4. 1	平成 6. 3. 31	
七代	村山信一	平成 6. 4. 1	平成 8. 3. 31	
八代	村山悦司	平成 8. 4. 1	平成10. 3. 31	
九代	矢口辰幸	平成10. 4. 1	平成12. 3. 31	
十代	小林勝美	平成12. 4. 1	平成17. 3. 31	
十一代	藤巻誠	平成17. 4. 1	平成19. 3. 31	
十二代	江村久	平成19. 4. 1	平成21. 3. 31	
十三代	山田真一	平成21. 4. 1	平成24. 3. 31	
十四代	山田秀和	平成24. 4. 1	平成25. 3. 31	
十五代	齊藤勝	平成25. 4. 1	平成27. 3. 31	
十六代	田村信二	平成27. 4. 1	平成29. 3. 31	
十七代	根津正一	平成29. 4. 1	令和 2. 3. 31	
十八代	樋口哲生	令和 2. 4. 1	令和 4. 3. 31	
十九代	服部勝志	令和 4. 4. 1	令和 7. 3. 31	
二十代	古澤正男	令和 7. 4. 1		

■十日町地域消防本部の機構図

令和7年4月1日



■消防本部・消防署・分署配置図

令和7年4月1日



しぶみ分署

- ◆消防ポンプ自動車 1台
- ◆高規格救急車 1台
- ◆査察広報車 1台
- ◆小型動力ポンプ 1台



救急ステーション

- ◆高規格救急車 1台



消防本部・署

- ◆消防ポンプ自動車 2台
- ◆化学消防ポンプ自動車 1台
- ◆屈折はしご付消防ポンプ自動車 1台
- ◆非常用消防ポンプ自動車 1台
- ◆救助工作車 1台
- ◆高規格救急車 2台
- ◆指揮車 1台
- ◆資機材搬送車 3台
- ◆査察広報車 1台
- ◆人員搬送車 2台
- ◆赤パ 2台
- ◆小型動力ポンプ 2台
- ◆非常用救急車 1台



南分署

- ◆水槽付消防ポンプ自動車 1台
- ◆高規格救急車 2台
- ◆査察広報車 2台
- ◆小型動力ポンプ 2台



総務編

総務編

1. 消防庁舎等の現況

令和7年4月1日

区 分 名 称	所 在 地	構 造	建築年月日	経 過 年	面 積 (m ²)		
					敷 地	建 築	延
消防本部・署	〒948-0007 十日町市四日町新田1041番地	庁舎棟 鉄筋コンクリート造4階建 車庫棟 鉄骨造2階建 エネルギー棟 鉄骨造平屋建	平成27年10月31日	9	11,134.00	1,900.41	4,028.07
		訓練棟 (主 棟) 鉄筋コンクリート造4階建 (副 棟) 鉄骨造3階建 (管理棟) 鉄骨造平屋建	平成28年12月31日	8		306.49	697.54
		十日町地域消防ヘリポート	令和2年11月30日	4			
南分署	〒949-8201 津南町大字下船渡乙1097番地1	鉄骨造4階建	平成9年3月24日	28	2,510.14	425.37	1,174.68
しぶみ分署	〒942-1402 十日町市松之山小谷969番地5	鉄骨造4階建	平成23年3月24日	14	5,157.41	339.80	1,034.74
救急ステーション	〒948-0065 十日町市高田町3丁目南32番地9 (新潟県立十日町病院内)	プレキャストプレストレスト コンクリート造	平成28年3月9日	9			90.86
城山無線局舎	十日町市堀之内字城山戊2163番地13	鉄筋コンクリート造	平成26年11月14日	10	8,156.28	39.97	103.90

2. 消防費予算状況

(単位:千円)

年度 区 分 科 目		令和6年度		令和7年度			組合一般会計予 算に対する割合
		当初予算額	決算額	当初予算額	前年度比較	消 防 費 に 対 する 割 合	
常備 消 防 費	消防本部署費	1,056,950	1,088,755	1,164,849	107,899	76.9%	
	南分署費	66,508	11,957	47,530	△ 18,978	3.1%	
	しぶみ分署費	7,226	6,766	7,295	69	0.5%	
	救急ステーション費	4,270	4,248	4,291	21	0.3%	
	小 計	1,134,954	1,111,726	1,223,965	89,011	80.8%	
非常 備 消 防 費	十日町方面隊費	97,539	92,585	104,143	6,604	6.9%	
	川西方面隊費	15,834	13,827	15,613	△ 221	1.0%	
	中里方面隊費	18,123	15,478	18,430	307	1.2%	
	松代方面隊費	8,267	6,955	8,119	△ 148	0.5%	
	松之山方面隊費	8,392	7,219	8,244	△ 148	0.6%	
	津南消防団費	42,658	38,897	45,223	2,565	3.0%	
	小 計	190,813	174,961	199,772	8,959	13.2%	
消 防 施 設 費	常備消防施設費	26,612	28,889	36,458	9,846	2.4%	
	十日町消防施設費	24,348	26,112	6,382	△ 17,966	0.4%	
	川西消防施設費	552	486	484	△ 68	0.0%	
	中里消防施設費	1,234	1,206	1,491	257	0.1%	
	松代消防施設費	1,779	1,650	1,513	△ 266	0.1%	
	松之山消防施設費	4,123	2,306	17,969	13,846	1.2%	
	津南消防施設費	1,822	1,397	27,116	25,294	1.8%	
	小 計	60,470	62,046	91,413	30,943	6.0%	
消防費合計		1,386,237	1,348,733	1,515,150	128,913	100.0%	66.6%

組合一般会計予算額 2,276,400 千円

3. 過去5年間の消防費決算状況

区分 年度	消防費 決算額 (千円)	内 訳			組合一般会計 決算額 (千円)	組合一般会計 決算額に対する 消防費の割合 (%)	人口1人 当たり 消防費 (円)	1世帯当たり 消防費 (円)
		常備 消防費 (千円)	非常備 消防費 (千円)	消 防 施設費 (千円)				
R02	1,496,870	1,027,618	197,855	271,397	2,140,078	69.9%	24,572	64,749
R03	1,266,368	1,036,095	177,597	52,676	1,732,947	73.1%	21,137	54,613
R04	1,302,197	1,023,093	159,604	119,500	1,706,248	76.3%	22,171	56,411
R05	1,413,634	1,055,375	185,746	172,513	1,800,928	78.5%	24,561	61,564
R06	1,348,733	1,111,726	174,961	62,046	1,775,093	76.0%	23,988	59,106

4. 人口、世帯に対する消防吏員、団員、ポンプ車の割合

令和7年4月1日

区 分	実 数	消防吏員 (1人当たり)	消防団員 (1人当たり)	消防自動車等 (1台当たり)
面積(Km ²)	760.6	6.79	0.36	7.38
世帯数(世帯)	22,701	202.69	10.65	220.40
人口(人)	55,020	491.25	25.81	534.17
備 考 (数値は管内(十日町市・津南町)の合計)		消防吏員 <u>112人</u>	消防団員 <u>2,132人</u>	管理車両のうち緊急自動車 の要件を満たす台数【103台】 (署: 28 台) (団: 75 台)

5. 基準消防力と現有消防力の比較(常備分)

令和7年4月1日

種別		基 準	現 有	比 較	充足率(%)
署々数	市 街 地	1	1	0	100.0%
	準 市 街 地	1	1	0	100.0%
	その他の地域	1	1	0	100.0%
	計	3	3	0	100.0%
消防職員数	消 防 隊 員	84	39	-45	46.4%
	救 急 隊 員	29	24	-5	82.8%
	救 助 隊 員	16	12	-4	75.0%
	指 揮 隊 員	9	6	-3	66.7%
	予 防 要 員	18	5	-13	27.8%
	通 信 員	6	6	0	100.0%
	その他職員	14	20	6	142.9%
	計	176	112	-64	63.6%
消防署管理の消防自動車等	消防ポンプ自動車 水槽付消防車含 は し ご 車	5	4	-1	80.0%
	化学消防車	1	1	0	100.0%
	救助工作車	1	1	0	100.0%
	救 急 車	6	6	0	100.0%
	指 揮 車	1	1	0	100.0%
	非常用消防車	1	1	0	100.0%
	非常用救急車	1	1	0	100.0%
	計	17	16	-1	94.1%
	特 殊 車 等	-	12	-	-

※「基準」並びに「現有」の一部は、令和4年度消防施設整備計画実態調査報告における値である。

6. 消防職員の階級別配置状況

令和7年4月1日(単位:人)

階級 区分	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
消 防 長	1							1
総 務 課		1	3	6	6	5	3	24
警 防 課		1	4	8	8	2	1	24
予 防 課		1	2	7	4	3	1	18
消 防 署		1	1	4	1	1		8
南 分 署		1	2	5	6	6	3	23
し ぶ み 分 署			3	3	5	3		14
合 計	1	5	15	33	30	20	8	112

※再任用職員を含む。

7. 消防職員の階級別勤続状況

令和7年4月1日(単位:人)

階級 区分	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
5年未満		1					8	9
5年以上～10年未満						14		14
10年以上～15年未満					5	6		11
15年以上～20年未満					22			22
20年以上～25年未満				12	2			14
25年以上～30年未満			1	18				19
30年以上	1	4	14	3	1			23
合 計	1	5	15	33	30	20	8	112
平 均 (年)	38.0	29.8	33.6	25.5	16.9	7.9	2.1	19.8

※再任用職員を含む。 ※1年未満は切り上げ。

8. 消防職員の階級別年齢調

令和7年4月1日(単位:人)

階級 区分	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳～20歳							1	1
21歳～25歳						3	6	9
26歳～30歳						12	1	13
31歳～35歳					5	5		10
36歳～40歳					19			19
41歳～45歳				11	5			16
46歳～50歳			1	17				18
51歳～55歳		2	10	5	1			18
56歳以上	1	3	4					8
合 計	1	5	15	33	30	20	8	112
平 均 (歳)	57.0	56.0	53.5	47.1	38.5	28.5	22.5	41.1

※再任用職員を含む。

9. 消防職員の消防学校等教育受講状況

令和7年3月31日(単位:人)

年度		R02	R03	R04	R05	R06	計
県消防学校	初任科	5	3	2	1	1	12
	警防科			1		1	2
	予防査察科		1	1		1	3
	危険物科	1		1	1		3
	火災調査科	1	1		1	1	4
	救急科	3	5	1	1		10
	特殊災害科		1		1		2
	気管挿管薬剤投与講習						
	救助科	2	2	1	1	1	7
	高度救助コース	1	1	1	1	1	5
	幹部科(中級・初級)		1	1	1	1	4
	操法審査員研修			2	2	2	6

年度		R02	R03	R04	R05	R06	計
消防大学校	幹部科	1	1			1	3
	警防科						0
	救助科		1				1
	危険物科						0
	救急科	1					1
	女性活躍推進コース					1	1
	予防科				1		1
	救急救命			1	1	1	3
研修所	指導救命士(九州)			1	1		2
	階層別研修(課長/補佐/係長/主任級)	3	3	6	7	7	26
	給与事務研修					1	1
	その他研修	1	2	3	2	10	18

10. 消防職員採用等の状況

令和7年4月1日(単位:人)

項目	採用者数	再任用数
R07	2	0
R06	2	1
R05	1	1
R04	2	0
R03	4	1

11. 消防職員退職状況

令和7年3月31日(単位:人)

項目	退職者数	退職事由	
		定年等	その他
R06	4	0	4
R05	2	0	2
R04	3	1	2
R03	3	2	1
R02	4	3	1

12. 給与及び勤務の状況

<勤務職員の内訳>

令和7年4月1日(単位:人)

毎日勤務	交替制勤務	その他派遣等	合計	条例定数
22	90		112	116

<給料>

令和7年4月1日(単位:円)

初任給			平均給料
高卒	短大卒	大卒	
211,600	230,400	249,000	344,429

<特殊勤務手当等>

令和7年4月1日(単位:円)

火災出場	救急出動	救命士 特定行為	夜間消防手当			緊急車運転手当		休日勤務手当		防疫等作業	
300	200	500	2時間未満	2時間以上	夜間全て	消防作業	救急業務	割増率	当番11.5時間	長時間	短時間
			220	270	400	100	60	135/100	非番4時間	4,000	3,000

<消防吏員の時間外勤務時間数及び有給休暇取得日数状況>

時間外勤務時間数(令和6年度中)		平均時間	有給休暇取得日数(令和6年中)		平均日数
支給対象職員 (管理職を除く)	103人	6,348時間	61.6時間	毎日勤務者	21人 279日 13.3日
				交替制勤務者	93人 1,282日 13.8日
				合計	114人 1,561日 13.7日

<消防吏員の勤務体制及び勤務時間>

令和7年4月1日

適用 給料表	交替制勤務 サイクル	勤務時間(週)	
消防職	三部制	毎日勤務	三部制勤務(1当務)
		38時間45分	38時間45分(15時間30分)

R6.1.1~R6.12.31で集計



編防警

總局

1. 消防機関の出動状況

(単位:件、人)

種別 区分			火	うち 林野火災	救	救	風水害等の災害	演習・訓練	広報指導	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
			災		急	助										
本署	出回	動数	26	7	1,265	31	9	347	186	135	30	28	12	472	1	256
	出延	動員人	363	72	3,858	289	35	3,288	256	408	132	76	106	934	12	935
救急S T	出回	動数	12	1	1,388	20							2			4
	出延	動員人	36	3	4,183	60							6			12
南分署	出回	動数	13	2	826	13	7	281	52	112	2	39	4	174		68
	出延	動員人	57	8	2,539	64	30	1,707	97	342	10	112	23	361		266
しぶみ分署	出回	動数	8	3	299	4	5	250	30	66	7	20	1	99		42
	出延	動員人	36	15	921	16	18	1,033	86	229	27	62	9	213		118
合計	出回	動数	59	13	3,778	68	21	878	268	313	39	87	19	745	1	370
	出延	動員人	492	98	11,501	429	83	6,028	439	979	169	250	144	1,508	12	1,331

注)「広報指導」には、住宅防火や救急講習が含まれます。

注) 合計出動回数は災害発生件数とは異なります。

2. 市町別救助出動状況

(単位:件)

区分	事故の種別		交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等による事故	ガス・酸欠事故	その他(捜索含む)	計
	火	災								
	建物	建物以外								
十日町市										
	(十日町地域)		7	5		3			7	22
	(川西地域)		2						5	7
	(中里地域)		1						3	4
	(松代地域)					1			1	2
	(松之山地域)			1					1	2
津南町			2	1		1			3	7
管外										
合計			12	7		5			20	44

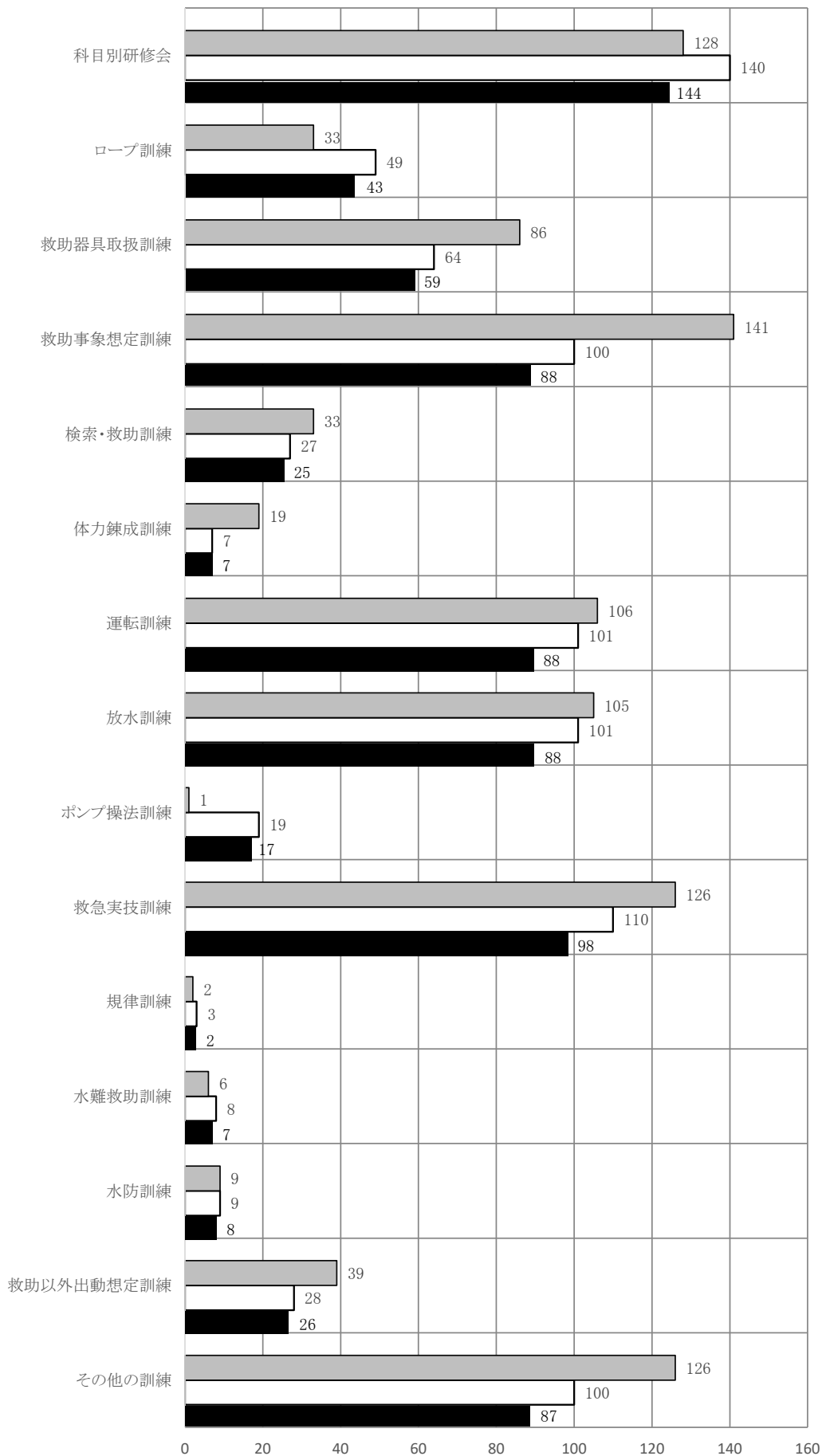
3. 消防職員一般教育、訓練実施状況

(令和6年中)

訓練内容 区分		科目別 研修会	ロープ 訓練	救助器具 取扱訓練	救助事象 想定訓練	検索・救助 訓練	体力錬成 訓練	運転 訓練	放水 訓練	ポンプ 操作訓練	救急実技 訓練	規律 訓練	水難救助 訓練	水防 訓練	救助以外 出動想定訓練	その他の 訓練	合計
本署	回数	25	22	39	44	9	2	24	45	7	44	1	3	3	5	71	344
	時間	46.0	27.0	64.5	88.0	16.0	3.0	39.0	72.0	10.0	72.0	1.0	12.0	5.0	9.0	125.0	589.5
	延人員	266	104	315	468	86	18	125	352	66	480	8	29	32	57	732	3,138
南分署	回数	49	9	8	43	6	1	37	30	9	38	1	4	3	10	30	278
	時間	66.0	11.5	10.0	71.5	10.0	1.0	48.0	42.0	11.0	59.0	0.5	5.5	4.5	14	42.0	396.5
	延人員	328	34	45	266	40	7	178	176	59	240	7	26	21	62	192	1,681
しづみ分署	回数	61	9	15	29	18	12	26	24	5	21	2		1	4	22	249
	時間	101	13.5	22.5	49.0	34.5	11.5	47.5	40.0	8.0	31.0	2.0		0.5	6.5	34.5	402.0
	延人員	267	28	60	124	72	46	104	98	20	83	8		4	22	95	1,031
合計	回数	135	40	62	116	33	15	87	99	21	103	4	7	7	19	123	871
	時間	213.0	52.0	97.0	208.5	60.5	15.5	134.5	154.0	29.0	162.0	3.5	17.5	10.0	29.5	201.5	1,388.0
	延人員	861	166	420	858	198	71	407	626	145	803	23	55	57	141	1,019	5,850

訓練実施回数

(単位:回)



令和4年
 令和5年
 令和6年

4. 消防本部・署・分署車両等配置状況

令和7年4月1日

車両区分	製造会社	型式	年式	購入	経過年数	総排気量	ポンプ		ポンプ	
				年月			(cc)	製作所		種別
消防本部・署	屈折はしご付消防ポンプ自動車	日野	2DG-FHIAGA	H29	H29.12	7	8,860	モリタ(株)	屈折はしご25m級消防ポンプ自動車	A-2
	化学消防ポンプ自動車	日野	SDG-GX7JGAA改	H28	H28.1	9	6,400	モリタ(株)オイル循環式	緊急消防援助隊仕様	A-2
	救助工作車	〃	SDG-GX7JGAA改	H24	H24.12	12	6,400	テイセン	救助工作車Ⅱ型レンジャー	
	消防ポンプ自動車1	〃	PD-XZU378M	H18	H19.1	18	4,000	日本機械㈱完全無給油式	緊急消防援助隊仕様	A-2
	消防ポンプ自動車2	〃	BDG-GX7JGWA改	H21	H21.1	16	6,400	モリタ(株)オイル循環式	緊急消防援助隊仕様	A-2
	非常用消防ポンプ自動車(十3)	ニッサン	KC-AKS71GR	H10	H10.1	27	4,570	モリタ(株)	CD-Ⅰ型アトラス	A-2
	高規格救急自動車1	トヨタ	CBF-TRH226S	H29	H29.10	7	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース緊急消防援助隊仕様	
	高規格救急自動車3	〃	CBF-TRH226S	H30	H31.3	6	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース緊急消防援助隊仕様	
	非常用救急自動車5	〃	CBF-TRH226S	H22	H22.10	14	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース	
	資機材搬送車1(原調車)	ニッサン	3BF-VNM20	R7	R7.1		1,590		パネット	
	資機材搬送車2	ニッサン	KC-SP8F23	H8	H8.10	28	2,660		アトラス	
	資機材搬送車3(トラック1)	日野	BDG-XZU378M	H21	H21.12	15	4,000		デュトロ	
	資機材搬送車4(連絡2)	いすゞ	BKG-NHS85A	H22	H22.8	14	2,990		防災活動車	
	指揮車	トヨタ	QDF-GDH206K	R1	R1.11	4	2,750		ハイエース	
	査察広報車	〃	DBA-ZRR85G	H29	H29.2	8	1,980		エスカイア	
	人員搬送車1(連絡1)	〃	CBF-TRH228B	H23	H23.10	13	2,690		ハイエース	
	人員搬送車2(連絡3)	ダイハツ	GBD-S330V	H20	H20.3	17	650		ハイゼット	
	赤バイ1号	ヤマハセロー	XT225WA223cc	H11	H11.6	25	223		セロー	
	赤バイ2号	〃	〃	H11	H11.6	25	〃		セロー	
S T	小型動力ポンプ	シバウラ	SF651SZ	H18	H18.9	18	150	石川島芝浦機械㈱	ポンプ2号積載	B-3
	〃	シバウラ	TF516SH	H13	H13.10	23	150	石川島芝浦機械㈱	トラック1号積載	C-1
南分署	高規格救急自動車2	ニッサン	CBF-CS8E26改	R4	R4.2	2	2,480	新潟日産モーター(株)	日産バレーディック	
	消防ポンプ自動車(南P1)	ミツビシ	KK-FG53ED	H12	H12.1	25	5,240	モリタ(株)	CD-Ⅰ型キャンター	A-2
	高規格救急自動車(南救急1)	トヨタ	CBF-TRH226S	H28	H28.10	8	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース緊急消防援助隊仕様	
	高規格救急自動車4	トヨタ	CBF-TRH226S	H21	H21.11	15	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース緊急消防援助隊仕様	
	査察広報車1	ニッサン	3BA-KS6E26	R7	R7.1		2,480		キャラバン	
	査察広報車2	トヨタ	S-PZJ77V改	H5	H5.8	31	3,460		ランドクルーザー	
	小型動力ポンプ	シバウラ	TF516SH	H18	H18.9	18	150	石川島芝浦機械㈱	1段高压タービン	〃
しぶみ分署	〃	〃	TF516SH	H18	H18.9	18	150	石川島芝浦機械㈱	1段高压タービン	〃
	消防ポンプ自動車(しぶみP1)	日野	KK-XZU371M改	H13	H13.7	23	4,890	GM いちはら	CD-Ⅰ型デュトロ	A-2
	高規格救急自動車(しぶみ救急1)	トヨタ	3BF-TRH226S	R2	R2.11	3	2,690	トヨタテクノクラフト	ハイエース緊急消防援助隊仕様	
	査察広報車	ダイハツ	3BD-S710V	R6	R6.3	1	650	ハイゼットカーゴ		
	小型動力ポンプ	シバウラ	TF516SH	H13	H13.7	23	150	石川島芝浦機械	完全無給油式ポンプ1号積載	C-1

5. 消防ポンプ車等現有状況

令和7年4月1日

種別 消防ポンプ車等 所属	屈折ポンプ自動車	化学ポンプ自動車	救助工作車	消防ポンプ自動車	水タンク付自動車	小型動力ポンプ	救急車		非常用ポンプ自動車	非常用救急車	指揮車	査察広報車	人員搬送車	資機材搬送車	赤バイ	計
							救急高規格車	救急車								
消防本部・署	1	1	1	1	1	2	2		1	1	1	1	2	4	2	21
S T							1									1
南分署				1		2	2					2				7
しぶみ分署				1		1	1					1				4
本部・署所計	1	1	1	3	1	5	6	0	1	1	1	4	2	4		33

6. 緊急消防援助隊登録状況

令和7年4月1日

登録小隊名	登録車両	登録車両配置場所	登録年月
1. 消火小隊	十日町ポンプ1	本署	平成19年4月
2. 消火小隊	十日町ポンプ2	本署	平成21年4月
3. 消火小隊	十日町化学1	本署	平成29年4月
4. 救急小隊	南救急1	南分署	平成29年4月
5. 救急小隊	十日町救急1	本署	平成30年4月

7. 消防・救急応援協定締結状況

令和7年4月1日

協定の名称	業務内容	協定年月日
新潟県広域消防相互応援協定(全県)	火災及びその他の災害	平成13年4月1日
中部消防応援協定 (長岡市、三条市、柏崎市、魚沼市、見附市、南魚沼市、燕・弥彦総合事務組合、小千谷市、加茂市・田上町消防衛生保育組合)	火災及びその他の災害	平成29年1月1日
消防・救急業務相互応援協定(岳北広域行政組合)	火災及びその他の災害	平成10年4月1日
	救急	
消防相互応援協定(長野県下水内郡栄村)	火災及びその他の災害	
消防相互応援協定(上越地域消防事務組合)	火災及びその他の災害	平成19年8月1日

8. 特殊機械器具現有状況

令和7年4月1日

区分	品名	現有器材内訳	本署 (ST含む)	南分署	しづみ分署	合計
救 助 器 具	三連はしご		6	3	1	10
	かぎ付はしご		4	3	1	8
	空気式救助マット	ソフトランディング	1			1
	油圧式救助器具	ポートパワー、ユニットール	1	1	1	3
	救助用簡易起重機	アリゾナボーテックス	1			1
	大型油圧式救助器具	スプレッター、カッター、エンジン	各1			各1
	充電式油圧救助器具	スプレッター、カッター、パーカッター	各1	各1		各2
	マット型空気ジャッキ	マイティパーバッグ1式、リフトバッグ	1	1		2
	救命索発射銃	MS-30、ミロクM-300	2			2
	簡易縛帯	R-430型、R-427型	2	1	1	4
	サバイバースリング	AZ-1031-1ピタゴール	1	1	1	3
	平担架		2	1		3
	バスケット担架		3	1	2	6
	スケッドストレッチャー	SK-200-OR	1	1	1	3
	可搬式ウインチ	チルホール	2	1	1	4
破 壊 器 具	エンジンカッター	K-750、TS410	3	1	1	5
	アセチレンガス切断器		1	1	1	3
	ガス溶断器	バーニングカッター	1		1	2
	空気鋸	タイガーエアーソー	1	1	1	3
	空気切断機	アジャックスM711	1			1
	チェーンソー		4	2	1	7
	レンブロッソー		2	1		3
	ハンマードリル	日立DH-42	1			1
	削岩機	ピオニア121A型	1			1
保 安 器 具	空気呼吸器	デマンド式(カワサキK2)	11			11
		プレッシャーデマンド式(ライフゼム)	9			9
		プレッシャーデマンド式(ドレーゲル)	17	11	4	32
	空気呼吸器用軽量ボンベ	300kg/cm ³ 2.4ℓ _ト				0
		〃 4.7ℓ _ト	35	15	8	58
		〃 6ℓ _ト	7			7
		〃 9ℓ _ト	6			6
		150kg/cm ³ 4ℓ _ト (鉄製)				0
		〃 6ℓ _ト (鉄製)				0
		〃 8ℓ _ト (鉄製含む)	5			5
	酸素呼吸器	圧縮酸素型循環式、OXYGEM-11	4			4
	送風機	TS式、ラムファンGH165	3		1	4
	耐熱服		6			6
	耐電衣	使用電圧7000V以下	6			6
	耐電手袋	〃	6			6
	耐電長靴	〃	6			6
	耐電ヘルメット	〃	6			6
	耐電ズボン	〃	6			6
	化学防護服	気密形 ドレーゲル社製	3			3
測 定 器 具	酸欠空気危険性ガス測定器	イグザム2000、GX5000 アルティア4、アルティア4X	4	1	1	6
	熱画像直視装置	アルゴス	2			2
		K2 FLIR			1	1
そ の 他	救命ボート	ゴム製6人乗り	1			1
	簡易画像探索機	ボーカメ NT-740S	1			1
	エアータント	芦森製 SAT-663G	1			1
	ピックアップノズル	200型 400型	3	3	2	8
	ラインプロポーショナー		1	1	2	4
	小型高压送水装置ウィック	メルセデステキスタイル社	1			1

区分	名 称	内訳・型式等	本署 (ST含む)	南分署	しぶみ 分署	合計
救 急 活 動 用 資 器 材	人工呼吸器	パフパック、アンサー、メデューマット	4	2	1	7
	電動吸引器	レールダル	3	2	1	6
	喉頭鏡	マッキントッシュ型	6	3	1	10
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	エアウェイスコープ	2	2	1	5
	携帯型血中酸素飽和度測定器	小型パルスオキシメーター	3	2	1	6
		マシモ Rad57 (SpCO測定兼用)	1	1	1	3
	電子聴診器		3	1	1	5
	AED	自動体外式除細動器	2	0	1	3
	モニター(兼)除細動器	PHILIPS:DFM100 旭化成:ZOLL Xシリーズ	3	2	1	6
	車載固定モニター	日本光電	0	1	0	1
	自動式心マッサージ器	コムスタット、クローバー、ルーカス	4	2	1	7
	スクープストレッチャー		6	4	3	13
	バックボード		8	5	4	17
	ソフト担架	ターボリン・メッシュ	12	5	3	20
	陰圧ギブス	部位別サイズ一式	3	2	1	6
	高圧蒸気滅菌器	ユヤマ式オートクレーブ	1	0	0	1
	オゾンガス発生器	携帯型	2	1	1	4
	携帯電話		3	2	1	6
	防刃ベスト		12	3	3	18
救 急 訓 練 用 資 器 材	高度処置訓練用人形	高研 セーブマン	1	1	1	3
		レールダル シムマン	0	0	1	1
		ACLS訓練人形(シムマンALS)	2	0	0	2
	蘇生訓練用人形	成人型(レサシアン・ジャミイV)	2	2	0	4
		小児型(リトルジュニア)	23	1	1	25
		乳児型(ヘビーアン・ジャミイヘビー)	8	1	1	10
		上半身簡易型(アクター911)	20	10	10	40
		成人半身型(リトルアン)	43	12	11	66
	AEDトレーナー	レールダル・メドトロニック・日本光電	46	10	10	66
	モニター(兼)除細動器	PHILIPS:MRx	1	0	0	1
	気道管理訓練用人形		2	0	0	2
	外傷訓練用人形	SIMULAIDS	1	0	0	1
	腕模型	静脈路確保訓練用	2	0	1	3

※救急資器材は、予備概数を含む。

9. 消防水利市町別設置状況

令和7年4月1日

種別 市町	防 火 水 槽					消 火 栓			合 計	その他の水利 池
	100m ³ 以上	60～ 100m ³	40～ 60m ³	20～ 40m ³ 未満	小 計	上水道 放 口 65mm	簡易水道 (初期消火 用除く) 放 口 65mm 以 上	小 計		
十 日 町 市	21	36	758	73	888	503	893	1,396	2,284	
(十日町地域)	2	10	366	26	404	342	361	703	1,107	
(川西地域)	1	1	133	22	157	161	11	172	329	
(中里地域)			121	10	131		124	124	255	
(松代地域)	18	18	58	7	101		229	229	330	
(松之山地域)		7	80	8	95		168	168	263	
津 南 町	1	1	184	13	199		57	57	256	3
合 計	22	37	942	86	1,087	503	950	1,453	2,540	3

10. 公設消火栓管径別設置状況

令和7年4月1日

種別 市町	消防水利の基準に適合			消防水利の基準に不適合			合 計
	150mm以上	75mm以上 150mm未満	小 計	75mm以上 150mm未満	75mm未満	小 計	
十 日 町 市	258	280	538	827	22	849	1,387
(十日町地域)	168	190	358	326	11	337	695
(川西地域)	15	26	41	130		130	171
(中里地域)	4	20	24	100		100	124
(松代地域)	40	38	78	151		151	229
(松之山地域)	31	6	37	120	11	131	168
津 南 町	20	5	25	31		31	56
合 計	278	285	563	858	22	880	1,443

11. 火の見やぐら、消防器具置場設置状況

令和7年4月1日

種別 市町	火の見やぐら				消防器具 置 場
	鉄 製	コンクリート製	ホース乾燥柱他	計	
十 日 町 市	13	17	57	87	141 (16)
(十日町地域)	9	12	17	38	70 (2)
(川西地域)			14	14	21 (2)
(中里地域)	4	1	15	20	22 (1)
(松代地域)		3	8	11	15 (5)
(松之山地域)		1	3	4	13 (6)
津 南 町	4	7	19	30	54 (7)
合 計	17	24	76	117	195 (23)

※1 ()内は、公民館等に併設されている消防器具置場になります。

※2 ホース乾燥中他内に、木製の火の見やぐらが1箇所含まれます。(津南町)

12. 令和6年度主な施設等整備状況

区分	事業名	数	摘要
十日町	耐震性貯水槽新設工事	1	水沢市ノ沢
	火の見櫓解体撤去工事	3	吉田山谷、北鑑坂、笹之沢
	消防水利雪囲設置工事	2	稲荷町4、澁野
	防火水槽解体撤去工事	1	慶地
川西	消防水利雪囲設置工事	2	岩瀬、鶴吉
中里	消防器具置場解体撤去工事	1	程島
	消防水利雪囲設置工事	1	高道山
松代	防火水槽修繕工事	1	松代
	消防器具置場解体撤去工事	1	桐山
	消防水利雪囲設置工事	1	木和田原
	取水塔解体撤去工事	1	犬伏
松之山	防火水槽解体撤去工事	2	松之山、大荒戸
	消防水利雪囲設置工事	1	松之山
津南町	消防水利雪囲修繕工事	2	上加用、大谷内
	消防施設解体撤去工事	1	上加用

00 預防編

預防編

1. 火災総括表

令和6年中管内の火災件数は、前年より1件減少し、28件であった。損害額は増加し、火災による死者数は前年から1名増となった。

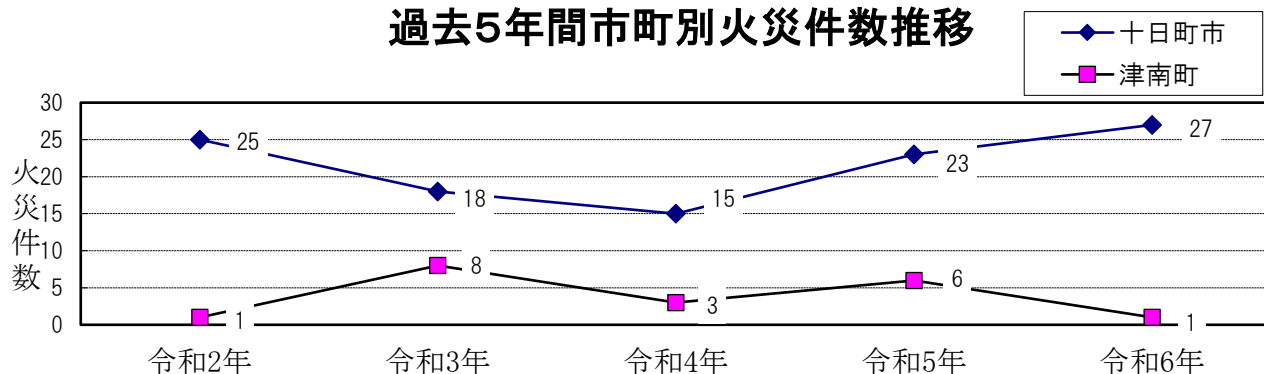
区分別	年別・増減比	令和5年中	令和6年中	増減	前年比
火災総件数(件)		29	28	-1	97%
建物火災		15	13	-2	87%
林野火災		5	6	1	120%
車両火災		2	0	-2	0%
その他の火災		7	9	2	129%
焼損棟数(棟)		25	22	-3	88%
全焼		7	7	0	100%
半焼		0	4	4	400%
部分焼		6	5	-1	83%
ぼや		12	6	-6	50%
罹災世帯数(世帯)		21	11	-10	52%
罹災者数(人)		48	26	-22	54%
死傷者数(人)	死者	2	3	1	150%
	負傷者	3	3	0	100%
建物焼損床面積(m ²)		1252.00	1354.27	102	108%
建物焼損表面積(m ²)		65.14	81.59	16.45	125%
林野焼損面積(a)		18.5395	6.25	-12.2895	34%
焼損車両台数(台)		2	0	-2	0%
損害額(千円)		25,329	95,414	70,085	377%

2. 市町別火災発生状況

十日町市では過去5年間で火災件数が平均21.6件となった。津南町では過去5年間で火災件数が平均3.8件となった。令和6年は十日町市が過去5年間の平均を上回り、津南町が平均を下回った。

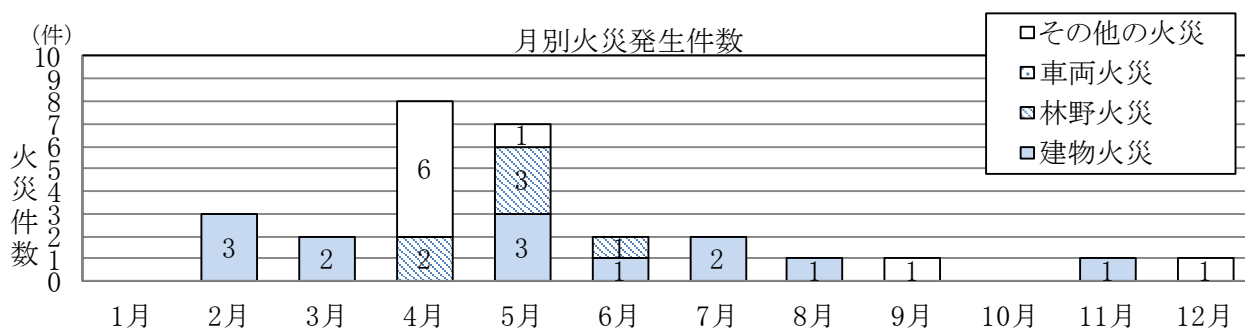
市町(地域)別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	過去5年間平均
十日町市	25	18	15	23	27	21.6
十日町地域	8	13	10	15	19	13
川西地域	8	2	1	5	2	3.6
中里地域	4	1	1	1	1	1.6
松代地域	3	2	2	2	4	2.6
松之山地域	2	0	1	0	1	0.8
津南町	1	8	3	6	1	3.8
計	26	26	18	29	28	25.4

過去5年間で市町別火災件数推移

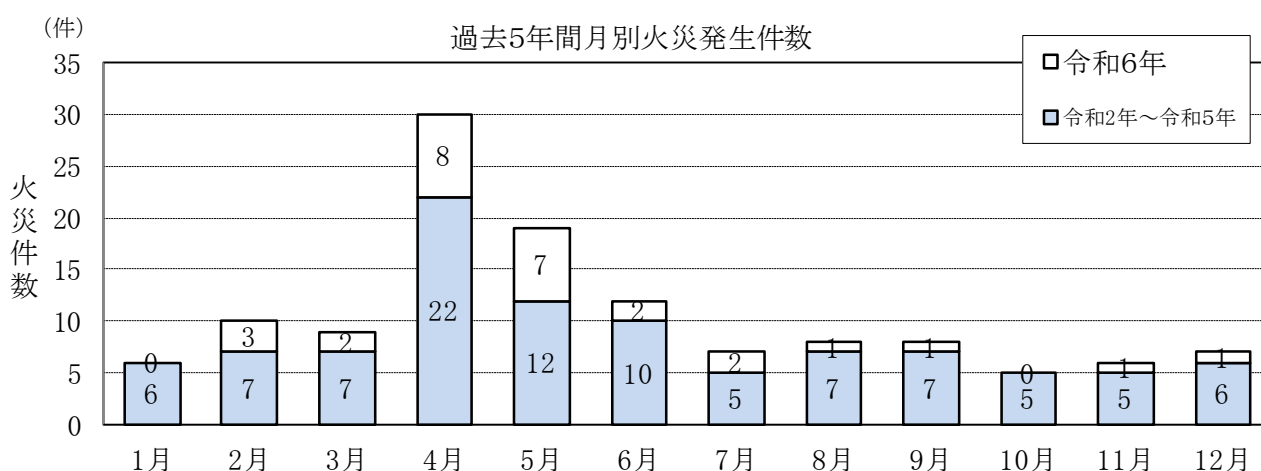


3. 月別火災発生状況

令和6年中の火災件数を月別にみると、4月に最も多く火災が発生した。1月、10月は火災件数が0件であった。

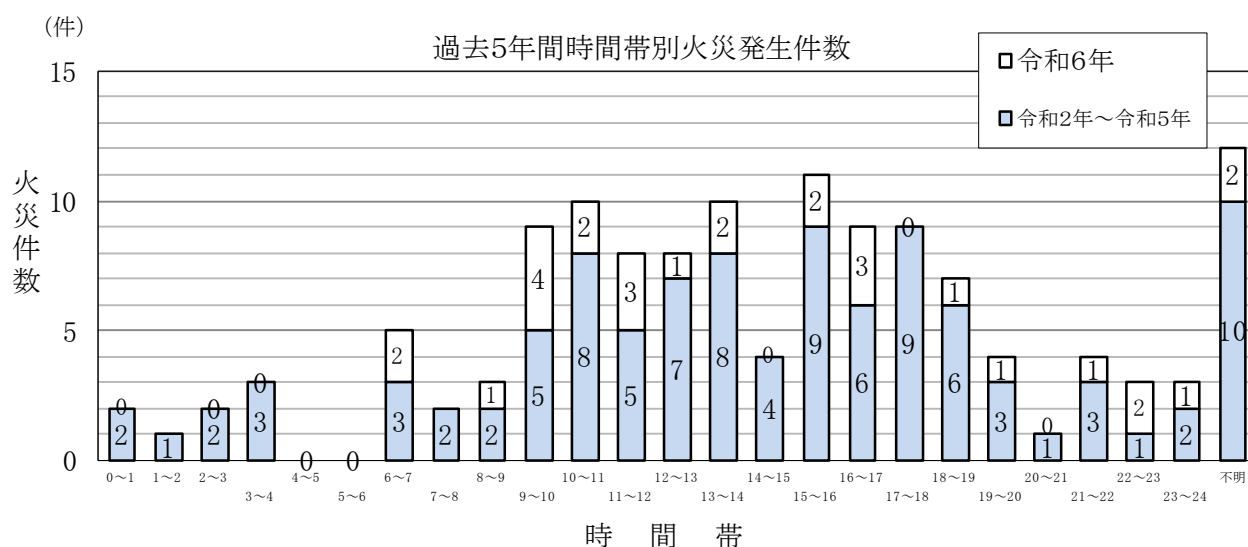


過去5年間の火災件数を月別でみると、4、5月に火災が多く発生している。



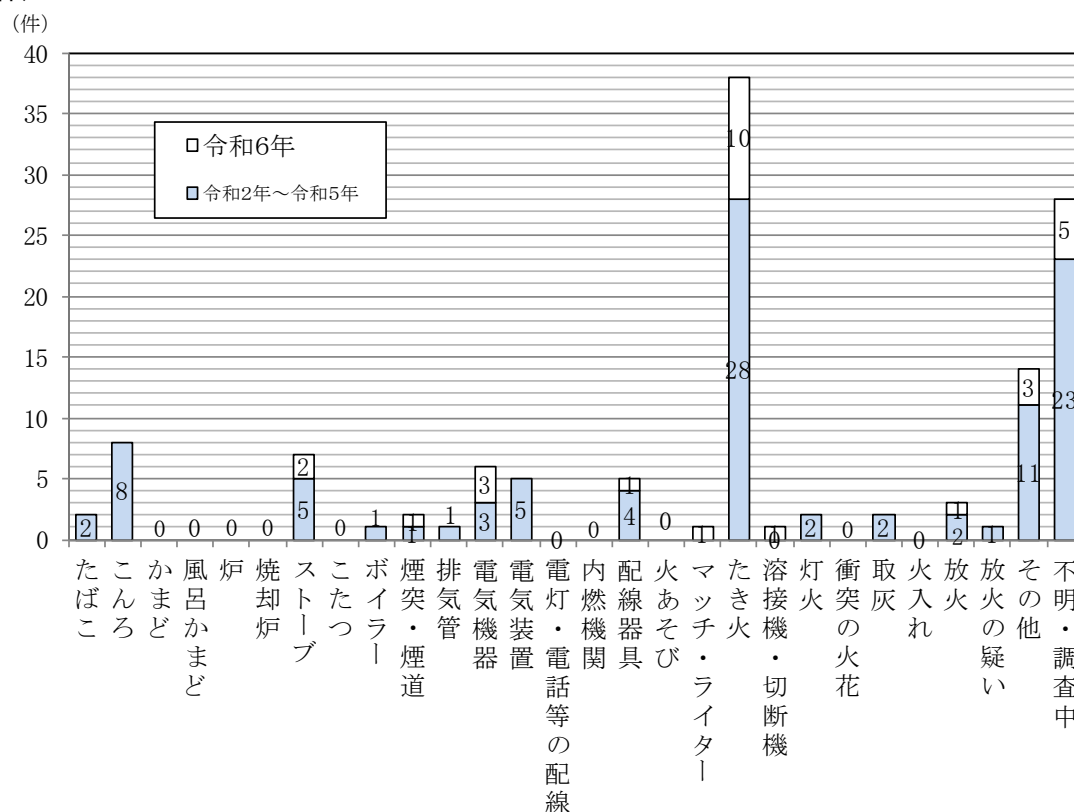
4. 過去5年間の時間帯別火災発生状況

9時から19時の活動時間帯に火災が発生していることが多く、全体の約7割を占めている。



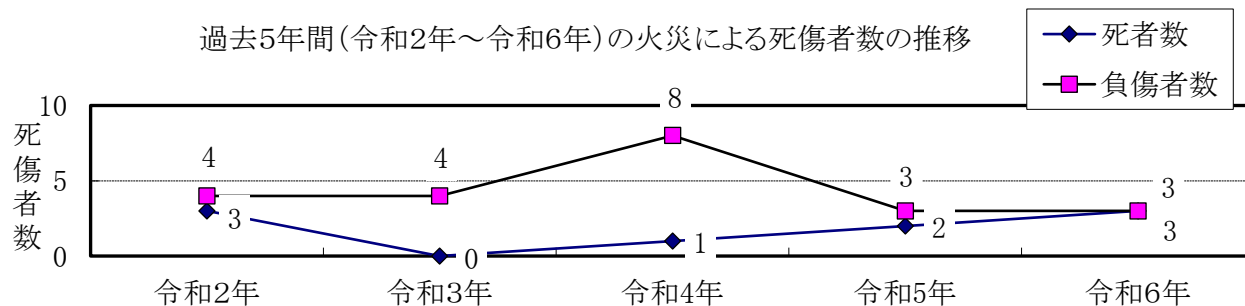
5. 過去5年間の原因別火災発生状況

令和6年中の火災の出火原因は、例年1番多いたき火であり、過去5年間を顧みても、明らかにたき火(件)を原因とする火災が多い。



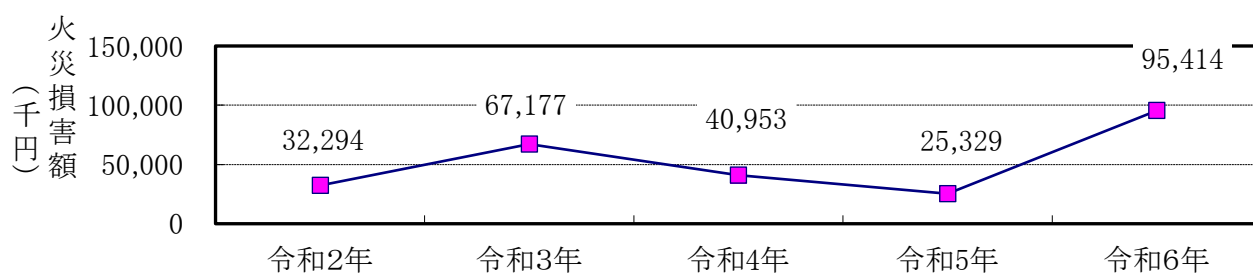
6. 過去5年間の火災による死傷者の数

過去5年間(令和2年～令和6年)の火災による死傷者数の推移



7. 過去5年間の火災による損害額の状況

過去5年間(令和2年～令和6年)の火災による損害額の推移



8. 過去5年間の火災発生状況

	区分	火災件数					焼損棟数					罹災世帯数				罹災人員	死傷者数			焼損床面積	
		建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計		死者	負傷者	計	建物 (㎡)	林野 (a)
令和6年	十日町市	13	6		8	27	7	4	5	6	22			5	5	26	3	3	6	1354.27	18.08
	十日町地域	11	3		5	19	6	4	4	5	5			5	5	19	2	2	4	1330.51	12.02
	川西地域	1			1	2	1		1		4					2	1		1	23.76	
	中里地域	1				1				1	1					5					
	松代地域		2		2	4					1							1	1		4.74
	松之山地域		1			1															1.32
	津南町				1	1															
	計	13	6		9	28	7	4	5	6	22			5	5	26	3	3	6	1354.27	18.08
令和5年	区分	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	罹災人員	死者	負傷者	計	建物 (㎡)	林野 (a)
	十日町市	12	3	1	7	23	22	5		6	11	4		11	15	37	2	3	5	1251.97	16.45
	十日町地域	8	3	1	3	15	12	3		4	5	2		7	9	24	2	2	4	636.74	16.45
	川西地域	2			3	6	8	2		2	4	2		3	5	9				615.23	
	中里地域	1				1	1				1					2		1	1		
	松代地域	1			1	2	1				1			1	1	2					
	松之山地域																				
	津南町	3	2	1		6	4	2			2	2		1	3	8					
	計	15	5	2	7	29	26	7		6	13	6		12	18	45	2	3	5	1251.97	16.45
令和4年	区分	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	罹災人員	死者	負傷者	計	建物 (㎡)	林野 (a)
	十日町市	9	1	3	2	15	5		2	12	19	3		10	13	42	1	7	8	681.33	10.46
	十日町地域	5	1	3	1	10	3		2	5	10	1		5	6	24	1	6	7	257.67	10.46
	川西地域				1	1															
	中里地域	1				1	1			2	3	1		2	3	9				138.81	
	松代地域	2				2	1			4	5	1		3	4	9		1	1	284.85	
	松之山地域	1				1				1	1										
	津南町	1		1	1	3	1				1	1			1	5		1	1	158.62	
	計	10	1	4	3	18	6		2	12	20	4		10	14	47	1	8	9	839.95	10.46
令和3年	区分	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	罹災人員	死者	負傷者	計	建物 (㎡)	林野 (a)
	十日町市	7	1	3	7	18	2		3	5	10			6	6	15		3	3	359.74	3.78
	十日町地域	6	1	1	5	13	2		3	4	9			5	5	13		3	3	359.74	3.78
	川西地域			2		2															
	中里地域				1	1															
	松代地域	1			1	2				1	1			1	1	2					
	松之山地域																				
	津南町	5	1		2	8	5	1	2	1	9	2	1	2	5	17		1	1	682.77	1.09
	計	12	2	3	9	26	7	1	5	6	19	2	1	8	11	32		4	4	1042.51	4.87
令和2年	区分	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	罹災人員	死者	負傷者	計	建物 (㎡)	林野 (a)
	十日町市	10	1	4	10	25	3	3	5	5	16	2	2	3	7	7	3	3	6	694.94	21.28
	十日町地域	4		2	2	8	1		2	3	6									131.12	
	川西地域	3		1	4	8		3			3		1		1	3	2	1	3	231.02	
	中里地域	1		1	2	4	1		1		2	1		1	2	1	1	1	2	233.54	
	松代地域	1	1		1	3			1		1			1	1	2		1	1		21.28
	松之山地域	1			1	2	1		1	2	4	1	1	1	3	1				99.26	
	津南町				1	1												1	1		
	計	10	1	4	11	26	3	3	5	5	16	2	2	3	7	7	3	4	7	694.94	21.28

9. 建築確認申請用途及び建築通知、工事別処理状況

令和6年度(単位:件)

対 象 物		区 分	新 築	増 築	改 築	移 転	用途変更	大規模 の修繕 模様替え	計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等							
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場							
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブの類							
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル							
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等							
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 の 類							
	ロ	飲 食 店							
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗	1						1
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	1						1
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅							
(6)	イ	(1) 病 院							
		(2) 診 療 所							
		(3) 助産所・(1)(2)を除く病院・診療所							
		(4) 無 床 診 療 所 ・ 無 床 助 産 所	2						2
	ロ	(1) 老 人 短 期 入 所 施 設 等	1	1					2
		(2) 救 護 施 設							
		(3) 乳 児 院							
		(4) 障 害 児 入 所 施 設							
		(5) 障 害 者 支 援 施 設							
	ハ	(1) 老 人 デ イ サービス セ ン タ ー 等		1					1
		(2) 更 生 施 設							
		(3) 助 産 施 設 ・ 保 育 所 等							
		(4) 児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー 等							
		(5) 身 体 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー 等							
	二	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校							
(7)		小 学 校 ・ 中 学 校 ・ 高 等 学 校 各 種 学 校							
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館	2						2
(9)	イ	蒸 気 浴 場 熱 気 浴 場							
	ロ	公 衆 浴 場							
(10)		車 両 の 停 車 場							
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 の 類							
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 所		1					1
	ロ	映 画 ス タ ジ オ							
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	3						3
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫							
(14)		倉 庫	4				1		5
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 所	8						8
(16)	イ	複 合 用 途 防 火 対 象 物 で 特 定 用 途 の 存 す る も の							
	ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物							
(18)		ア ー ケード (50 m 以 上)							
その他		専 用 住 宅 等	23	1	1				25
		建 築 通 知	70	10	2			2	84
合 計			115	14	3		1	2	135

10. 消防用設備等(特殊消防用設備等)着工届・設置届受理状況

過去5年間(令和2年度～令和6年度)

年 別 設 備 別	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届	着工届	設置届
消 火 器		25		36		39		50		35
屋 内 消 火 栓 設 備		1	1	1	4	3	2	3	2	2
スプリンクラー 設 備	1	2	2	2	1	3		1	1	
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	1	1	1	2				1		
粉 末 消 火 設 備	1	1	1	1	2	3	3	3		
屋 外 消 火 栓 設 備	1	1	1	2		1		1		
動力消防ポンプ設備		3		1		1		5		2
自動火災報知設備	34	67	31	66	32	74	34	81	36	48
漏電火災警報設備										
消防機関へ通報する 火 災 報 知 設 備	3	2	4	4	2	2	8	9	7	
非 常 警 報 設 備		7		7		11		13		7
避 難 器 具		2	3	5		1		1	1	3
誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識		36		49		66		75		56
連 結 送 水 管		1								
パッケージ型消火設備	1	1	1	1	2	2	2	2	1	
合 計	42	150	45	177	43	206	49	245	48	153

11. 防火対象物の状況(棟数)

令和7年4月1日現在(単位:棟)

令別表第一用途		十日町市	(十日町地域)	(川西地域)	(中里地域)	(松代地域)	(松之山地域)	津南町	計
(1)	イ	7	5	2					7
	ロ	28	19	5	1	1	2	3	31
(2)	イ	1	1					3	4
	ロ	3	3					1	4
	ハ								
	二								
(3)	イ	5	4		1				5
	ロ	95	73	9	4	4	5	15	110
(4)		113	98	4	3	5	3	31	144
(5)	イ	99	44	8	12	12	23	54	153
	ロ	257	223	14	12	4	4	58	315
(6)	イ	(1)	1	1				1	2
		(2)	2	2					2
		(3)	1			1			1
		(4)	16	11	4	1		1	17
	ロ	(1)	8	5	2		1	3	11
		(2)							
		(3)							
		(4)							
		(5)	5	2	2	1			5
	ハ	(1)	10	6	1		3	3	13
		(2)							
		(3)	20	15	2	1	1	5	25
		(4)							
		(5)	34	28	3	1	2	6	40
	二	7	2	5					7
(7)		75	53	8	2	8	4	8	83
(8)		50	24	1	4	15	6	5	55
(9)	イ	1		1					1
	ロ	4		2	1		1	3	7
(10)		2	2						2
(11)		52	35	7	3	5	2	6	58
(12)	イ	480	346	69	29	24	12	101	581
	ロ								
(13)	イ	155	121	14	6	7	7	38	193
	ロ								
(14)		425	269	64	44	24	24	109	534
(15)		615	397	90	53	38	37	214	829
(16)	イ	136	46	21	29	20	20	65	201
	ロ	168	109	15	13	20	11	37	205
(17)		8	1	7					8
(18)~(20)									
計		2,883	1,945	360	221	195	162	770	3,653

※150㎡未満の防火対象物を含む

12. 中高層建築物の現況(防火対象物)

令和7年4月1日(単位:棟)

防火対象物別			階 層 別	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	計
(1)	イ	劇場・映画館等		1					1
	ロ	公会堂・集会場		1					1
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブの類							
	ロ	遊技場・ダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
(3)	イ	待合・料理店の類							
	ロ	飲食店							
(4)		百貨店・マーケット・店舗							
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所		8	2	2		1	13
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		16	1				17
(6)	イ	(1) 病院		1			1		2
		(2) 診療所							
		(3) 助産所・(1)(2)を除く病院・診療所							
		(4) 無床診療所・無床助産所							
	ロ	(1) 老人短期入所施設等							
		(2) 救護施設							
		(3) 乳児院							
		(4) 障害児入所施設							
		(5) 障害者支援施設							
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等		1					1
		(2) 更生施設							
		(3) 助産施設・保育所等							
		(4) 児童発達支援センター等							
		(5) 身体障害者福祉センター等							
	ニ	幼稚園・特別支援学校		1					1
(7)		小学校・中学校・高等学校 各種学校		10					10
(8)		図書館・博物館・美術館		1					1
(9)	イ	蒸気浴場熱気浴場							
	ロ	公衆浴場							
(10)		車両の停車場							
(11)		神社・寺院・教会の類							
(12)	イ	工場・作業所		5	2	1			8
	ロ	映画スタジオ							
(13)	イ	自動車車庫・駐車場							
	ロ	飛行機の格納庫							
(14)		倉庫		3					3
(15)		前各項に該当しない事業所		14	1		1		16
(16)	イ	複合用途防火対象物で特定用途の存するもの		7	6	1			14
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物		7	3	1			11
(17) ~ (20)		文化財等、アーケード、山林、舟車等							
合 計				76	15	5	2	1	99

13. 防火管理者選任状況

令和7年4月1日

市町(地域)別			十日町市		(十日町地域){(川西地域)}{(中里地域)}{(松代地域)}{(松之山地域)}										津南町		合 計		項 別 選 任 率
区 分			対 象 物	選 任 数	対 象 物	選 任 数	対 象 物	選 任 数	対 象 物	選 任 数	対 象 物	選 任 数	対 象 物	選 任 数	対 象 物	選 任 数	対 象 物	選 任 数	
令別表第一																			
(1)	イ		4	4	2	2	2	2									4	4	100%
	ロ		23	23	16	16	4	4	1	1	1	1	1	1	1	1	24	24	100%
(2)	イ														1	1	1	1	100%
	ロ		2	2	2	2									1	1	3	3	100%
	ハ																		
	ニ																		
(3)	イ		4	4	3	3			1	1							4	4	100%
	ロ		38	38	28	28	5	5	2	2	2	2	1	1	3	3	41	41	100%
(4)			61	60	54	53	1	1	2	2	3	3	1	1	8	8	69	68	99%
(5)	イ		27	27	10	10	1	1	6	6	2	2	8	8	6	6	33	33	100%
	ロ		5	5	3	3	1	1			1	1					5	5	100%
(6)	イ	(1)																	
		(2)	2	2	2	2											2	2	100%
		(3)	1	1							1	1					1	1	100%
		(4)	4	4	3	3	1	1									4	4	100%
	ロ	(1)	7	7	5	5	1	1			1	1			3	3	10	10	100%
		(2)																	
		(3)																	
		(4)																	
		(5)	1	1			1	1									1	1	100%
	ハ	(1)	4	4	3	3					1	1			2	2	6	6	100%
		(2)																	
		(3)	12	12	8	8	1	1	1	1	1	1	1	1	5	5	17	17	100%
		(4)																	
		(5)	6	6	4	4	1	1	1	1							6	6	100%
	ニ		3	3	2	2	1	1									3	3	100%
(7)			32	32	19	19	4	4	2	2	5	5	2	2	4	4	36	36	100%
(8)			15	15	9	9			2	2	3	3	1	1	3	3	18	18	100%
(9)	イ																		
	ロ		2	2					1	1			1	1			2	2	100%
(10)																			
(11)			20	20	10	10	4	4	1	1	5	5			3	3	23	23	100%
(12)	イ		8	8	8	8									1	1	9	9	100%
	ロ																		
(13)	イ																		
	ロ																		
(14)			2	2	2	2											2	2	100%
(15)			48	47	35	35	3	3	5	5	2	2	3	2	11	11	59	58	98%
(16)	イ		127	126	80	79	10	10	14	14	10	10	13	13	25	25	152	151	99%
	ロ		48	48	34	34	3	3	4	4	5	5	2	2	13	13	61	61	100%
(17) ～ (20)																			
合 計			506	503	342	340	44	44	43	43	43	43	34	33	90	90	596	593	
選任率(%)			99%		99%		100%		100%		100%		97%		100%		99%		

14. 火災予防条例による届出状況

令和6年度(単位:件)

届出別	月 別	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防火対象物使用開始		160	7	9	19	20	11	26	18	16	11	10	6	7
催 物 開 催		10				3	1	3	1			1	1	
道 路 工 事		1530	115	99	160	141	229	197	176	110	95	47	74	87
火災とまぎらわしい行為		108	3	4	5	3	1	3	18	4	23	39	2	3
煙 火 打 上		50			3	12	23	4	1		1		5	1
電 気 設 備		20	2		3	3	1	2	2	2	1	1	2	1
炉・ボイラー設備		21		1	1	1	4	1	3	1	3		3	3
少 量 危 険 物		37						2	13	6	8	6	1	1
合 計		1,936	127	113	191	183	270	238	232	139	142	104	94	103

15. 危険物製造所等施設状況

(1) 市町別設置状況

令和7年3月31日(単位:施設)

製造所等の別 市町(地域)の別	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
十 日 町 市		5	15	2	147	2	68	1	240	47	1	40	88	328
(十日町地域)		3	12	2	94	2	44		157	31	1	29	61	218
(川西地域)		2	1		21		9	1	34	5		5	10	44
(中里地域)					13		8		21	3		2	5	26
(松代地域)			2		10		7		19	5		2	7	26
(松之山地域)					9				9	3		2	5	14
津 南 町		3	2		39	1	9	1	55	9		14	23	78
合 計		8	17	2	186	3	77	2	295	56	1	54	111	406

(2) 令和6年度の新規設置状況

(単位:施設)

製造所等の別 市町(地域)の別	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
十 日 町 市							2		2					2
(十日町地域)							2		2					2
(川西地域)														
(中里地域)														
(松代地域)														
(松之山地域)														
津 南 町														
合 計							2		2					2

16. 危険物の許可数量と類別

令和7年3月31日(単位:施設)

製造所等の別 数量・類別		製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					合 計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小 計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所	小 計	
許可数量	5倍以下		4	5	1	82	3	72	1	168	2	1		25	28	196
	5倍を超え10倍以下		3	6	1	57			1	68	10			20	30	98
	10 " 50 "		1	5		37		5		48	14			8	22	70
	50 " 100 "					6				6	7			1	8	14
	100 " 150 "					1				1	3				3	4
	150 " 200 "					1				1	8				8	9
	200 " 1000 "			1		2				3	12				12	15
	合 計		8	17	2	186	3	77	2	295	56	1		54	111	406
類別	第一類															
	第二類															
	第三類															
	第四類		8	17	2	186	3	77	2	295	56	1		54	111	406
	第五類															
	第六類															
	混在															
	合 計		8	17	2	186	3	77	2	295	56	1		54	111	406

17. 危険物製造所等の申請届出状況

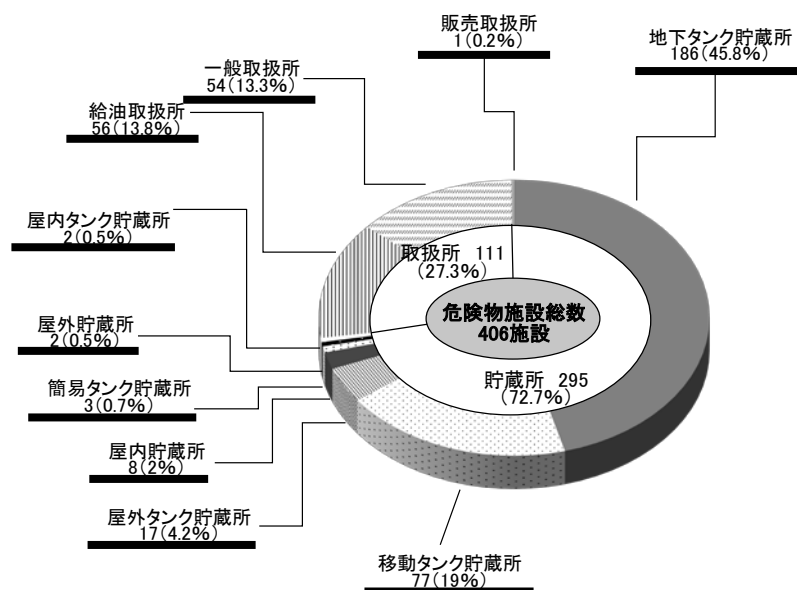
令和6年度(単位:件)

区 分 月 別	危険物製造所等								タンク検査申請	(仮貯蔵仮取扱)承認申請	(選任)危険物保安監督者届	完成検査済証	タンク検査済証	合計
	設置許可申請	変更許可申請	完 成 設 置 検査・変更申請	設置・変更許可証	仮使用承認申請	廃止届	譲渡引渡届	種類数変更届						
4月		1		1							3			5
5月						1					1			2
6月		1	1	1			1					1		5
7月		2	2	2		2	1					2		11
8月		1		1					1	1	1		1	6
9月	1	1	1	2		3						1		9
10月		1	2	1	1	4					1	2		12
11月		2	4	2		2			1		4	4	1	20
12月							1							1
1月														
2月														
3月											9			9
合計	1	9	10	10	1	12	3		2	1	19	10	2	80

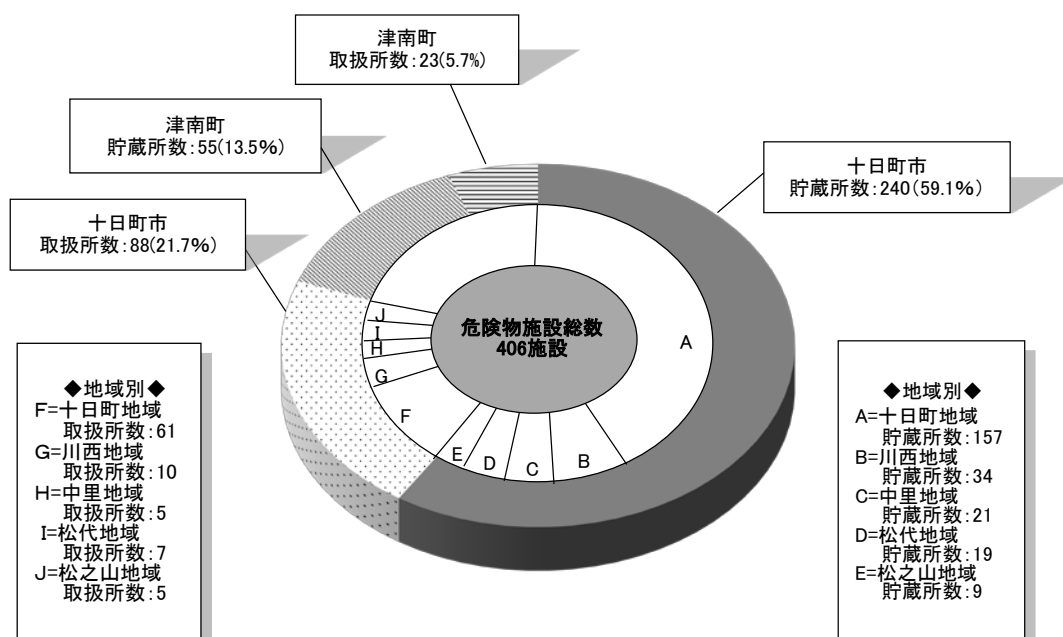
(単位:件)

区 分 年 別	危険物製造所等								タンク検査申請	(仮貯蔵仮取扱)承認申請	(選任)危険物保安監督者届	完成検査済証	タンク検査済証	合計
	設置許可申請	変更許可申請	完 成 設 置 検査・変更申請	設置変更許可証	仮使用承認申請	廃止届	譲渡引渡届	種類数変更届						
S35～H22	1,236	1,100	2,264	2,348	367	751	297	98	305	113	1,127	2,622	304	12,932
H23	12	34	30	43	10	37	1	6	4	5	17	39	4	242
H24	10	32	35	40	14	41	5	1	9	3	33	41	9	273
H25	7	55	59	62	31	21	5	1	12	2	15	59	12	341
H26	10	38	49	49	20	24	2	4	3	9	24	49	3	284
H27	10	30	41	40	13	19	2	2	2	8	24	41	2	234
H28	2	16	15	18	5	18	2			9	21	15		121
H29	9	32	42	42	3	22	5	2		3	17	43		220
H30	3	51	53	55	8	20	6	1	4	3	12	52	4	272
R01	9	49	57	59	9	15	7	1	4	7	15	58	5	295
R02	3	20	20	22	7	8	1	2		4	12	20		119
R03	7	20	25	27	5	11	4	2		3	16	24		144
R04	6	15	24	22	8	15	25	1	10	8	19	24	10	187
R05	4	7	11	11	5	11		1		6	23	11		90
R06	1	9	10	10	1	12	3		2	1	19	10	2	80
合計	1,329	1,508	2,735	2,848	506	1,025	365	122	353	184	1,394	3,108	353	15,754

18. 危険物施設の許可区分構成比



19. 危険物施設の市町別構成比





通信編

通信編

1. 消防通信施設状況

令和7年4月1日

施設名称		数	施設名称		数
1	指令装置		10	出動車両運用管理装置	
	(1) 指令台	2台		(1) 管理装置	1台
	(2) 自動出動指定装置 (制御処理装置、ディスプレイ含む)	1式		(2) 車両運用端末装置	23台
	(3) 地図等検索装置 (地図データ、ディスプレイ含む)	1式	11	(3) 車外設定端末装置	8組
	(4) 長時間録音装置	1式		システム監視装置	1式
	(5) 非常用指令設備	1式	12	データ保守装置	1式
	(6) 指令制御装置 (携帯・IP電話受信転送装置含む)	1式		電源設備	
	(7) プリンタ	5台	13	(1) 無停電電源装置	4台
	(8) カラープリンタ	1台		(2) 無停電電源装置(署所用)	3台
	(9) カラープリンタ(複写機)	1台	14	位置情報通知システム	1式
	(10) スキャナ	1台		携帯電話一斉指令装置	1式
	(11) 署所端末装置	4台	15	支援情報端末	1式
2	(12) 駆け込み通報装置	3台	16	多目的情報端末	2台
	表示盤		17	119受信FAX	1台
	(1) 車両・支援情報表示盤(4面マルチ構成)	1面	18	NET119受信パソコン	1台
	(2) 多目的情報表示盤(4面マルチ構成)	1面		署所監視カメラシステム	
	(3) 災害対策室用表示盤	2面		(1) 屋外用監視カメラ	9台
3	(4) 本部事務室用表示盤	4面	20	(2) 屋内用監視カメラ	9台
	(5) 映像制御装置	1式		(3) 監視用モニタ装置	1式
	無線統制台	1台	21	構内自動電話交換設備	
4	指令電送装置			(1) 多機能電話	78台
	(1) 指令情報送信装置	1台		(2) 一般電話	27台
	(2) 指令情報出力装置	4台		(3) 構内デジタル電話主装置(本部用)	1台
5	(3) 署所表示盤	4面		(4) 構内デジタル電話主装置(署所用)	3台
	気象情報収集装置	2式	22	避雷装置	
6	災害状況等自動案内装置	1台		(1) 高速避雷器(本部用)	1式
7	順次指令装置	1台		(2) 高速避雷器(しづみ分署用)	1式
8	音声合成装置	1式		(3) 高速避雷器(南分署用)	1式
9	無線LAN設備	1式		(4) 高速避雷器(救急ステーション用)	1式
				(5) 高速避雷器(城山局舎用)	1式
			23	情報共有装置	1式
			24	GISシステム	1式

回線状況等			
名 称		回線数	備 考
1	119番受付回線	8	本部8回線
2	一般加入回線		
	(1) 代表電話	8	本部2回線、救急ST2回線、各分署4回線
	(2) ダイヤルイン	6	本部6回線(総務課、警防課、予防課、消防署、通信指令室、災害対策作戦室)
	(3) ファックス、インターネット	4	本部2回線、各分署2回線
	(4) 順次指令、リモート	3	本部3回線
	(5) 災害案内	6	本部6回線
	(6) 携帯119番転送	4	本部4回線
	(7) 指令台発信専用	2	本部2回線
3	(8) 衛星回線	1	VSAT
	携帯電話	16	本部8回線(衛星2回線含む) 救急ステーション3回線、分署5回線

2. 無線電話機設置状

令和7年4月1日

局の種別		設置場所等 (積載車両等)	呼出名称	出力
城山	基	城山	十日町消防城山	10
	固	城山	十日町消防	0.2
消防本部	固	消防本部	十日町消防	0.2
			十日町消防901	5
			十日町消防902	5
			十日町消防903	5
			十日町消防911	5
			十日町消防921	5
			十日町消防921	5
	卓	指令1号車	十日町指令1	5
			十日町指令1	5
		指揮1号車	十日町指揮1	5
			十日町指揮11	5
			十日町指揮12	5
			十日町指揮13	5
			十日町現場本部1	5
			十日町現場本部2	5
			十日町現場本部3	5
		化学車	十日町化学1	5
			十日町化学11	5
		南ポンプ1号車	南ポンプ1	5
			南ポンプ11	5
		ポンプ2号車	十日町ポンプ2	5
			十日町ポンプ22	5
		ポンプ3号車	十日町ポンプ3	5
			十日町ポンプ33	5
		救助工作車	十日町救助1	5
			十日町救助11	5
		はしご車	十日町はしご1	5
			十日町はしご11	5
		救急1号車	十日町救急1	5
			十日町救急11	5
		救急3号車	十日町救急3	5
			十日町救急33	5
		救急5号車	十日町救急5	5
			十日町救急55	5
		資機材搬送1号車	十日町資機搬1	5
			十日町資機搬1	5
		資機材搬送2号車	十日町消防1	5
			十日町消防1	5
		トラック	十日町トラック1	5
			十日町トラック11	5
		連絡1号車	十日町連絡1	5
			十日町連絡2	5
		連絡2号車	十日町連絡2	5
			十日町連絡3	5
		連絡3号車	十日町連絡3	5
			十日町連絡11	5
		予防課	十日町原調1	5
			十日町携帯1	5
			十日町携帯2	5
			十日町携帯3	5
			十日町携帯4	5
			十日町携帯5	5
			十日町携帯6	5
			十日町携帯7	5
			十日町携帯8	5
			十日町携帯9	5
			十日町携帯10	5
			十日町携帯11	5
			十日町携帯12	5
			十日町携帯13	5
			十日町携帯14	5
			十日町現場本部4	5

局の種別		設置場所等 (積載車両等)	呼出名称	出力
本部	陸	通信指令室	南タンク1	5
			南タンク11	5
救急ST	卓	救急ST	救急ステーション901	5
	陸	救急2号車	十日町救急2	5
南分署	卓	南分署	南消防901	5
			南指令1	5
	陸	南指令1号車	南指令11	5
			南指令2	5
		南指令2号車	南指令22	5
			南指令22	5
		ポンプ1号車	十日町ポンプ1	5
			十日町ポンプ11	5
		南救急1号車	南救急1	5
			南救急11	5
しぶみ分署	卓	しぶみ分署	十日町救急4	5
			十日町救急44	5
	陸	しぶみ指令1号車	しぶみ消防901	5
			しぶみ指令1	5
		しぶみ指令11号車	しぶみ指令11	5
			しぶみ指令11	5
		しぶみポンプ1号車	しぶみポンプ1	5
			しぶみポンプ11	5
		しぶみ救急1号車	しぶみ救急1	5
			しぶみ救急11	5

※ 基:基地局 固:固定局 卓:卓上移動固定局 陸:陸上移動局

局の種別	波の種別									
	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波1	主運用波2	主運用波3	主運用波4	主運用波5	主運用波6	主運用波7
基地局	○	○	○						○	○
固定局	○	○	○						○	○
卓上移動固定局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陸上移動局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

消防無線電話機の署・所別設置数

種別 設置場所	基地局	固定局	卓上型固定 移動局	陸上移動局			計
				可搬型	車載型	携帯型	
城山	1	1					2
十日町消防本部		1	5	4	17	28	55
救急ST			1		1	2	4
南分署			1		5	5	11
しぶみ分署			1		3	3	7
計	1	2	8	4	26	38	79

3. 消防団無線電話機設置状況

【十日町市消防団】

配置場所	台数	種別
団本部	6	携帯
十日町方面隊 (方面隊長～分団長)	18	携帯
十日町方面隊 消防器具置場(積載車)	22	携帯
川西方面隊 (方面隊長～分団長)	10	携帯
川西方面隊 消防器具置場(積載車)	11	携帯
中里方面隊 (方面隊長～分団長)	10	携帯
中里方面隊 消防器具置場(積載車)	9	携帯
松代方面隊 (方面隊長～分団長)	9	携帯
松代方面隊 消防器具置場(積載車)	8	携帯
松之山方面隊 (方面隊長～分団長)	10	携帯
松之山方面隊 消防器具置場(積載車)	9	携帯
小 計	122	

【津南町消防団】

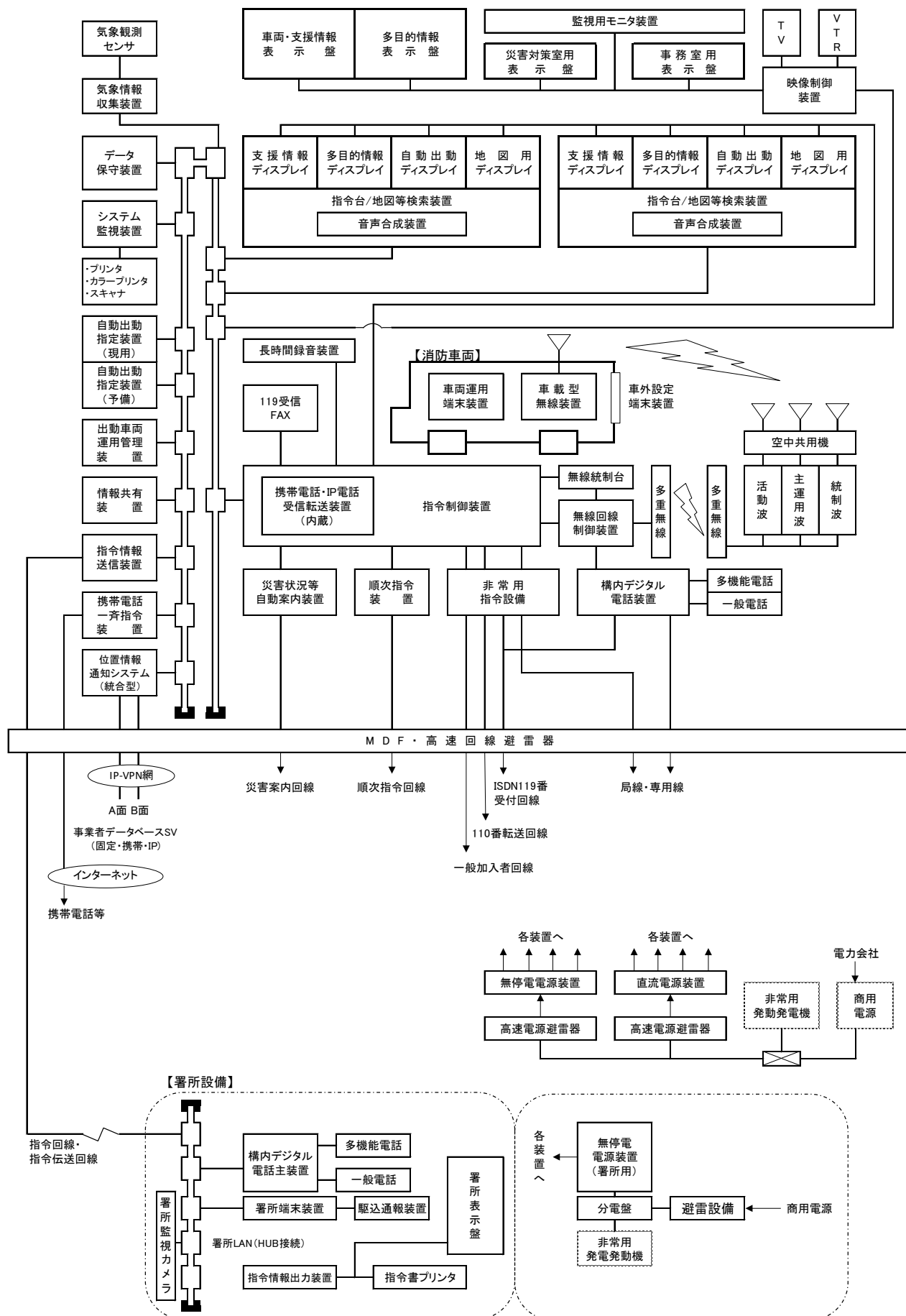
配置場所	台数	種別
団本部	6	携帯
分団長	7	携帯
消防器具置場(積載車)	16	携帯
小 計	29	

【市役所・予備】

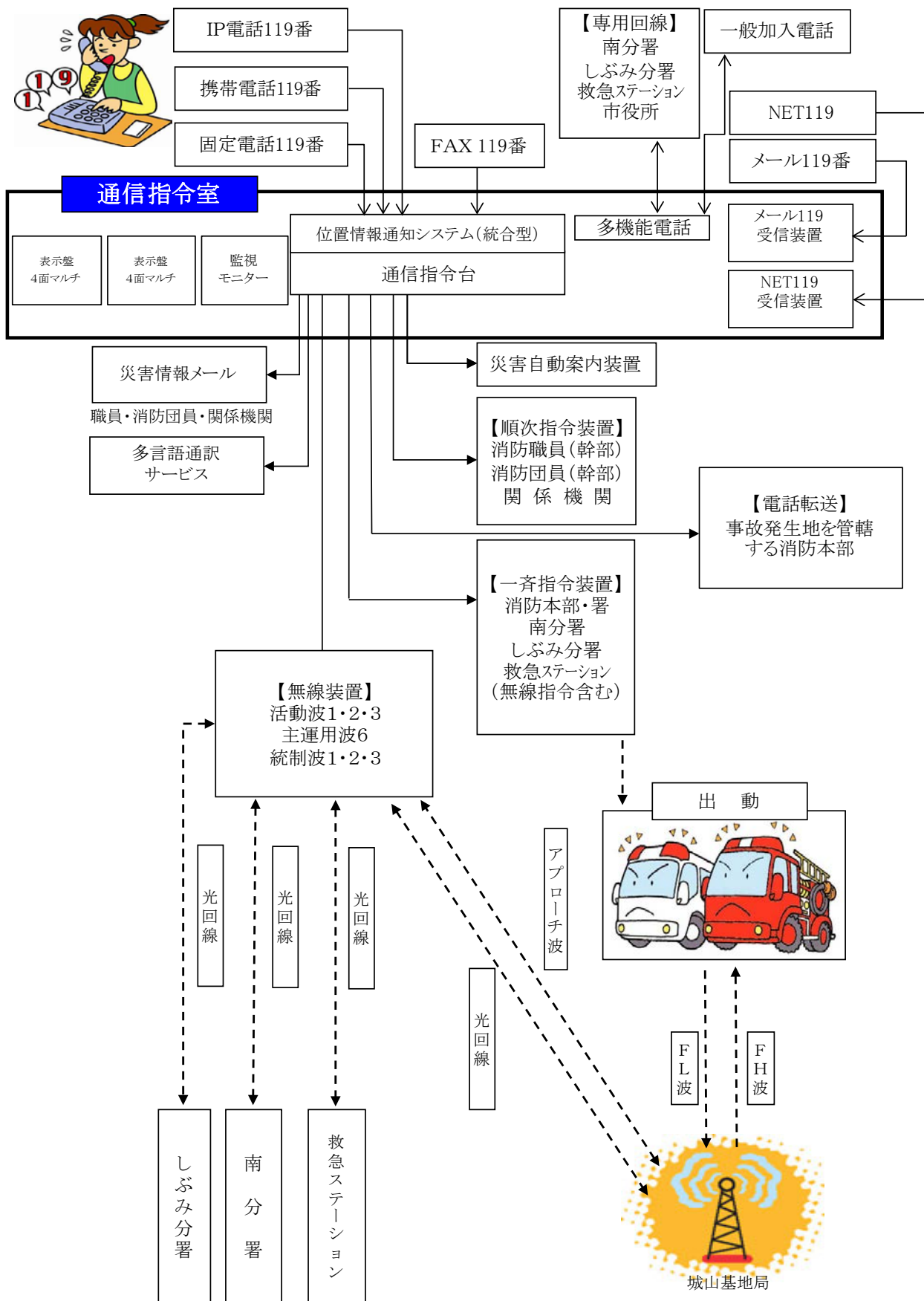
配置場所	台数	種別
本部(予備)	11	携帯
南(予備)	2	携帯
市役所	1	携帯
小 計	14	

合 計	165
-----	-----

4. システム系統図



5. 通信指令室系統図



6. 119番等受信状況

令和6年中

			119番受信状況			一般加入電話受信状況		その他
種 別	件数	割合	固定電話	携帯電話	IP・光電話	一般加入 (固定)	一般加入 (携帯)	その他 駆込み等
火 災	56	1.00 %	10	38	6	2		
救 急	3,671	65.44 %	690	1,128	1,407	185	67	194
救 助	41	0.73 %		19	6	14	1	1
警 戒	116	2.07 %	10	15	2	66	20	3
訓 練	491	8.75 %	181	106	193	3		8
問 合 せ	189	3.37 %	15	73	39	55	7	
病 院 照 会	5	0.09 %		3		2		
い た ず ら	2	0.04 %		2				
試 験	308	5.49 %	262	36	5	5		
誤 報	183	3.26 %	36	129	13	2		3
そ の 他	548	9.77 %	157	296	36	22		37
合 計	5,610	100 %	1,361	1,845	1,707	356	95	246

7. 災害情報問い合わせ状況

令和6年中

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	809	938	856	3,307	2,211	2,058	924	1,495	813	1,521	1,369	1,085	17,386

8. 口頭指導実施状況

(単位: 回)

内容 月	指導回数	指導内容				
		心肺蘇生	止血(鼻出血含む)	指趾切断	熱傷	気道異物
1	22	14	5	2		1
2	20	8	11		1	
3	30	22	8			
4	26	10	16			
5	15	9	6			
6	9	3	6			
7	20	3	14	1	1	1
8	17	9	7			1
9	19	11	5	2	1	
10	26	12	13		1	
11	19	8	11			
12	24	13	9			2
合計	247	122	111	5	4	5

9. 年間気象状況

令和6年中

区分 月	平均気圧 hpa	平均湿度 %	平均風向	平均風速 m/s	最高気温 ℃	最低気温 ℃	平均気温 ℃	降水量 mm (積雪換算含む)
1	1003.3	95.8	南南西	1.7	10.7	-5.3	1.2	230.0
2	1007.0	93.9	南南西	1.3	17.3	-5.2	2.2	92.5
3	1000.0	91.0	南南西	1.9	16.1	-5.2	3.7	208.0
4	999.5	79.6	北	1.9	29.6	1.6	13.7	64.5
5	998.5	80.6	北	1.9	30.7	4.5	16.6	108.0
6	994.3	82.8	北	1.8	33.7	11.2	21.7	75.5
7	994.2	92.4	南南西	1.6	34.8	19.6	25.7	252.5
8	993.2	91.2	北	1.7	36.1	21.3	27.2	22.0
9	998.4	91.8	北	1.5	35.8	13.6	24.4	125.0
10	1003.9	91.1	北	1.6	28.8	3.9	17.3	150.0
11	1004.1	92.7	南南西	1.6	23.1	-0.9	9.8	209.5
12	1000.2	96.5	南南西	1.6	15.3	-3.0	2.9	489.0
平均	999.7	90.0	北	1.7			13.9	
累計								2026.5

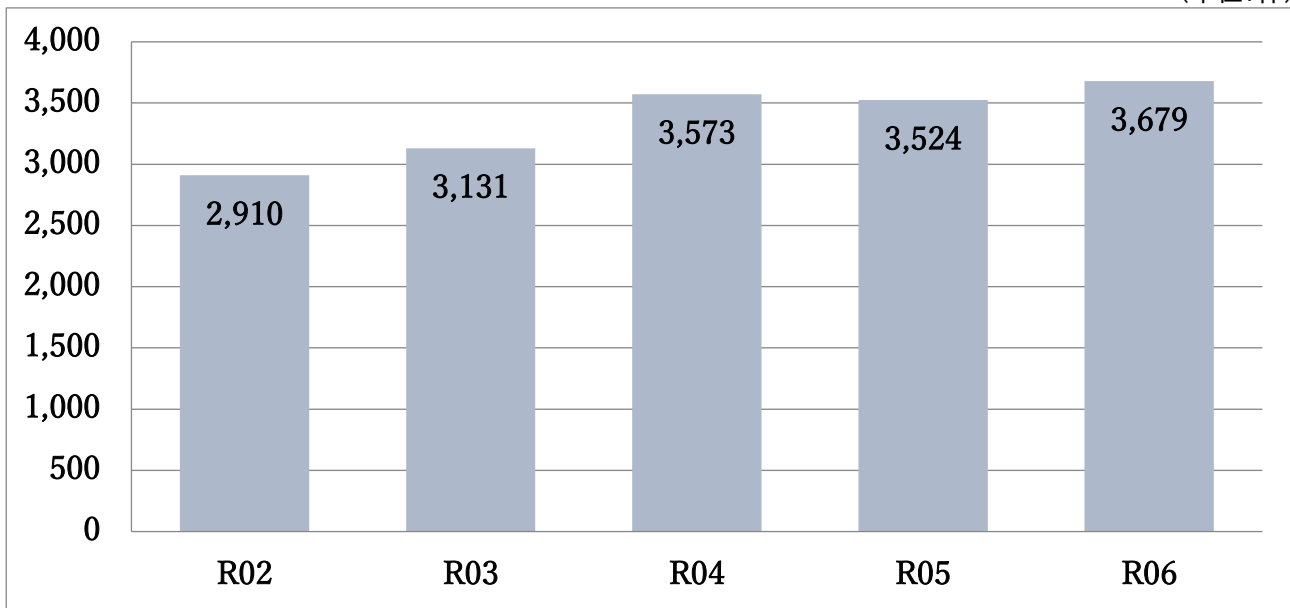


救急編

救急編

1. 過去5年間の救急出動件数の推移

(単位:件)



【十日町地域消防署の救急出動件数】

(単位:件)

各 年	救 急 事 故 種 別														合 計
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
R02	15			160	26	18	507	5	31	1,584	521	8		35	2,910
R03	14		1	133	40	10	500	6	32	1,768	576	16		35	3,131
R04	15	4		144	55	8	591	7	24	2,097	558	17		53	3,573
R05	15			148	35	15	542	3	25	2,125	524	13		79	3,524
R06	13		1	169	36	12	572	4	37	2,125	639	12		59	3,679

【津南町上郷地区への応援協定に基づく出動(岳北消防本部栄分署)】

(単位:件)

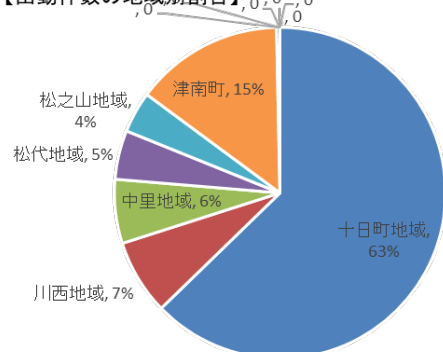
各 年	救 急 事 故 種 別													合 計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送		そ の 他
R02				5	1		9			36					51
R03							7			28					35
R04				1			10			29	1				41
R05				1			10			28					39
R06				1			9			26					36

2. 市町別等の救急出動状況

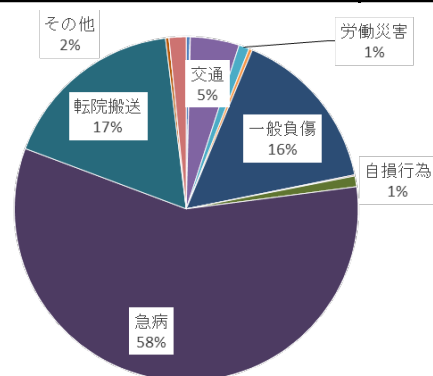
(単位:件、名)

区 分		救 急 事 故 種 別														合計
		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												転 院 搬 送	医師 搬 送	資 機 材 等	そ の 他	
十日町市	出動件数	13		1	144	27	9	489	4	34	1,829	522	9		51	3,132
	不搬送件数	12		1	28			5	1	10	60	2	9		50	178
	搬送人員(名)	1			131	27	9	484	3	24	1,769	520			1	2,969
十日町地域	出動件数	11		1	105	22	8	339	3	24	1,322	437	9		27	2,308
	不搬送件数	10		1	19			3	1	6	46	2	9		27	124
	搬送人員(名)	1			98	22	8	336	2	18	1,276	435				2,196
川西地域	出動件数	2			12	1	1	49		6	142	51			6	270
	不搬送件数	2			1					3	7				6	19
	搬送人員(名)				11	1	1	49		3	135	51				251
中里地域	出動件数				12	3		43		1	157	3			11	230
	不搬送件数				4			1			3				11	19
	搬送人員(名)				11	3		42		1	154	3				214
松代地域	出動件数				10			31	1		102	28			4	176
	不搬送件数				3						2				3	8
	搬送人員(名)				7			31	1		100	28			1	168
松之山地域	出動件数				5	1		27		3	106	3			3	148
	不搬送件数				1			1		1	2				3	8
	搬送人員(名)				4	1		26		2	104	3				140
津南町	出動件数				23	9	3	82		3	289	117	2		7	535
	不搬送件数				2			4			7		2		7	22
	搬送人員(名)				21	9	3	79		3	283	117				515
栄村	※応援協定に基づく長野県栄村秋山地区															
	出動件数							1			7					8
	不搬送件数															
管轄外	搬送人員(名)							1			7					8
	出動件数				2								1		1	4
	不搬送件数				2								1		1	4
合 計	搬送人員(名)															
	出動件数	13		1	169	36	12	572	4	37	2,125	639	12		59	3,679
	不搬送件数	12		1	32			9	1	10	67	2	12		58	204
	搬送人員(名)	1			152	36	12	564	3	27	2,059	637			1	3,492

【出動件数の地域別割合】



【出動件数の事故種別割合】

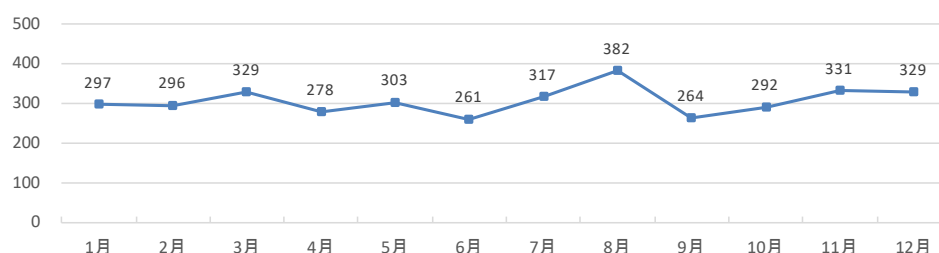


3. 月別救急出動状況

(単位:件、名)

区 分		救 急 事 故 種 別													合 計	
		火 災	自然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 輸 送		そ の 他
1月	出動件数				13	6	1	43		3	176	46			9	297
	不搬送件数				2					5					9	16
	搬送人員(名)				12	6	1	43		3	171	46				282
2月	出動件数	2			4	3		48		2	179	51			7	296
	不搬送件数	2			1			2		1	5	1			7	19
	搬送人員(名)				3	3		46		1	175	50				278
3月	出動件数	2		1	8	1		42		2	213	54			6	329
	不搬送件数	2		1	1					1	5				6	16
	搬送人員(名)				7	1		43		1	208	54				314
4月	出動件数	2			14	6	1	49	1	3	143	53	1		5	278
	不搬送件数	2								2	5	1	1		5	16
	搬送人員(名)				14	6	1	49	1	1	138	52				262
5月	出動件数	2			6	1		43		5	177	62			7	303
	不搬送件数	2			1			2		1	8				7	21
	搬送人員(名)				6	1		41		4	169	62				283
6月	出動件数	1			26	2	1	45		4	130	46	2		4	261
	不搬送件数				7			1		1	3		2		4	18
	搬送人員(名)	1			22	2	1	44		3	127	46				246
7月	出動件数	1			15	3	2	45	1	1	182	63	2		2	317
	不搬送件数	1			2			1			3		2		2	11
	搬送人員(名)				13	3	2	44	1	1	179	63				306
8月	出動件数	1			31	1	3	50		1	226	66	1		2	382
	不搬送件数	1			9			1			6		1		2	20
	搬送人員(名)				25	1	3	49		1	220	66				365
9月	出動件数				6	3		37			164	45	2		7	264
	不搬送件数				1						6		2		7	16
	搬送人員(名)				6	3		37			158	45				249
10月	出動件数				13	3	1	55		8	162	48	2			292
	不搬送件数				4					2	5		2			13
	搬送人員(名)				10	3	1	55		6	157	48				280
11月	出動件数	1			14	4	1	65	2	7	182	51	1		3	331
	不搬送件数	1			2			1	1	2	7		1		2	17
	搬送人員(名)				12	4	1	64	1	5	175	51			1	314
12月	出動件数	1			19	3	2	50		1	191	54	1		7	329
	不搬送件数	1			2			1			9		1		7	21
	搬送人員(名)				22	3	2	49		1	182	54				313
合 計	出動件数	13		1	169	36	12	572	4	37	2,125	639	12		59	3,679
	不搬送件数	12		1	32			9	1	10	67	2	12		58	204
	搬送人員(名)	1			152	36	12	564	3	27	2,059	637			1	3,492

【月別件数】



4. 搬送人員の区分(年齢区分・傷病程度・事故種別)

(単位:名)

区 分		事 故 種 別													合 計	
		火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送		その他
新 生 児	死 亡															
	重 症										2					2
	中等症										2					2
	軽 症															
	その他															
	計										4					4
乳 幼 児	死 亡															
	重 症									1						1
	中等症						1			12	4					17
	軽 症			4			5			27						36
	その他															
	計			4			6			40	4					54
少 年	死 亡									1						1
	重 症						2			1	5					8
	中等症					1	2		3	9	2					17
	軽 症			7		6	4			28	1					46
	その他															
	計			7		7	8		3	39	8					72
成 人	死 亡									3						3
	重 症				5	4		8		3	29	25				74
	中等症				10	7	1	24		10	119	103				274
	軽 症	1			64	13	4	57	2	1	201	3				346
	その他															
	計	1			79	24	5	89	2	14	352	131				697
高 齢 者	死 亡				2			6		5	48	4				65
	重 症				5	3		87		2	187	89				373
	中等症				21	3		218		3	960	375				1,580
	軽 症				34	6		149	1		433	22			1	646
	その他							1								1
	計				62	12		461	1	10	1,628	490			1	2,665
合 計	死 亡				2			6		5	52	4				69
	重 症				10	7		97		5	218	121				458
	中等症				31	10	2	245		16	1,100	486				1,890
	軽 症	1			109	19	10	215	3	1	689	26			1	1,074
	その他							1								1
	計	1			152	36	12	564	3	27	2,059	637			1	3,492

【年齢区分】

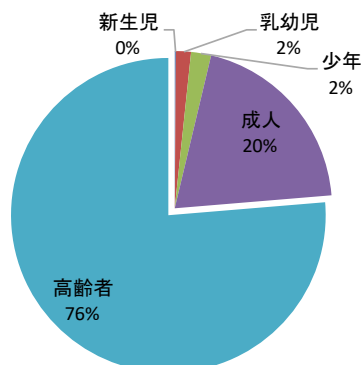
新生児: 生後28日未満

乳幼児: 生後28日以上満7歳未満

少年: 満7歳以上満18歳未満

成人: 満18歳以上満65歳未満

高齢者: 満65歳以上



【傷病程度】

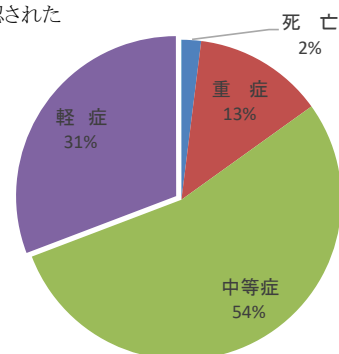
その他: 医師の診断がない及び「その他の場所」へ搬送

軽 症: 入院加療を必要としない

中等症: 入院加療を必要とするもので重症に至らない

重 症: 3週間以上の入院加療を必要とする

死 亡: 初診時において死亡が確認された

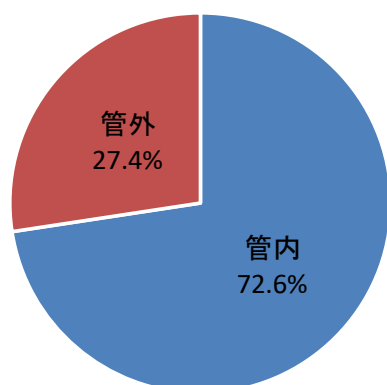


5. 搬送先医療機関の状況(休日・昼夜別)

(単位:名)

搬送先医療機関等		搬送人員				
		計	休 日		平 日	
			昼間	夜間	昼間	夜間
管内	県立十日町病院	2,228	237	176	1,080	735
	県立松代病院	114	9	6	63	36
	町立津南病院	183	16	15	90	62
	たかき医院	1	1			
	山口医院(下条)	4			2	2
	小千谷総合病院十日町診療所	4			2	2
	その他(管内ヘリポート)	1			1	
管外	魚沼基幹病院	679	63	52	380	184
	県立中央病院(上越)	20		1	14	5
	新潟大学医歯学総合病院	1			1	
	長岡中央総合病院	22		2	12	8
	小千谷さくら病院	2			2	
	北信総合病院	1				1
	小千谷総合病院	21	1	3	13	4
	国立病院機構 新潟病院	1			1	
	山下メンタルクリニック	1			1	
	南魚沼市民病院	4		1	2	1
	五日町病院	1			1	
	長岡赤十字病院	47	4	1	28	14
	飯山赤十字病院	1			1	
	立川総合病院	42	4	5	18	15
	齋藤記念病院	47	5	4	25	13
	ドクターヘリ基地病院(新潟大学)	3			3	
	ドクターヘリ基地病院(長岡赤十字病院)	58	10		43	5
	湯沢町保健医療センター(湯沢病院)	1			1	
	田宮病院	2			2	
	県立精神医療センター	2		1		1
	柏崎中央病院	1				1
合 計		3,492	350	267	1,786	1,089

【管内・管外の割合】



※「休日」: 日曜日、祝祭日、年末年始

※「昼間」: 8時00分～17時59分

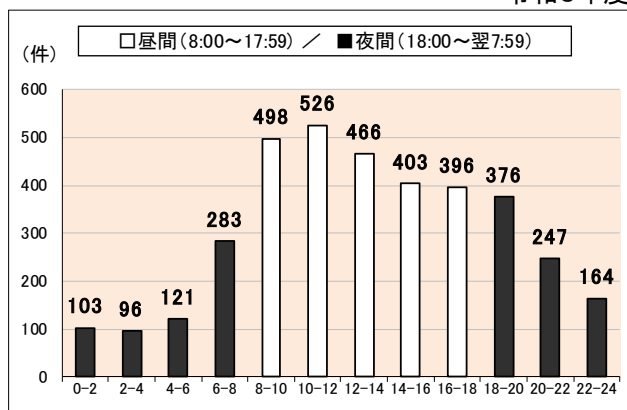
6. 転院搬送人員

搬送先医療機関 転院元医療機関	県立十日町病院	県立松代病院	町立津南病院	ドクターヘリ基地病院 (新潟大学)	ドクターヘリ基地病院 (長岡赤十字病院)	魚沼基幹病院	県立精神医療センター	県立中央病院(上越)	小千谷さくら病院	小千谷総合病院	新潟大学医歯学総合病院	長岡赤十字病院	長岡中央総合病院	湯沢町保健医療センター (湯沢病院)	立川総合病院	齋藤記念病院	合 計
県立十日町病院		2	3	2	6	242	1	5	2	5	1	21	13	1	18	3	325
県立松代病院	14				1	7		6								1	29
町立津南病院	46		1		8	47						5			10	2	119
あさだ皮フ科	1																1
おおふち眼科						1											1
たかき医院	1					7											8
ほり内科クリニック	2					1									1		4
ドクターヘリ基地病院(長岡赤十字病院)	2																2
メンタルケア中条					1												1
山口医院(下条)	10				1	9							1		2		23
山口医院(袋町)	13					1											14
十日町中央クリニック	20											1			1		22
小千谷総合病院十日町診療所										4		2					6
松之山診療所	1	1															2
上村診療所						4											4
川西診療所	1				1												2
大坪医院	7																7
大淵内科クリニック	2																2
庭野医院	2																2
田中外科医院													1				1
富田医院	49	1				6						1					57
蕪木歯科医院	1																1
本町クリニック	2					2											4
合 計	174	4	4	2	18	327	1	11	2	9	1	30	15	1	32	6	637

※「転院搬送」:現に医療機関に収容されている者を他の医療機関へ搬送すること。

7. 覚知時間帯別救急出動件数

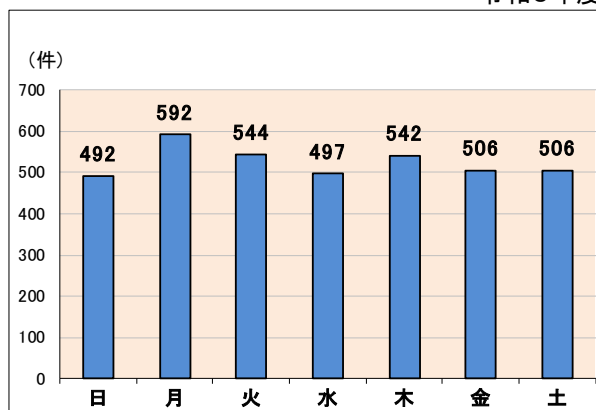
令和6年度



※「覚知」:119番回線が消防機関に接続し受付をした時刻

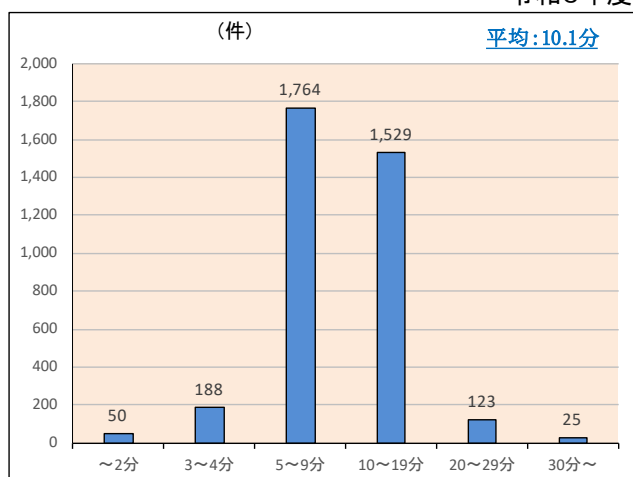
8. 覚知曜日別救急出動件数

令和6年度



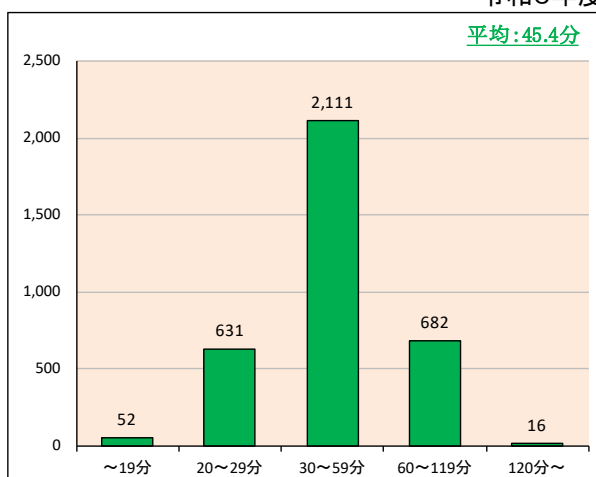
9. 現場到着所要時間別出動件数

令和6年度



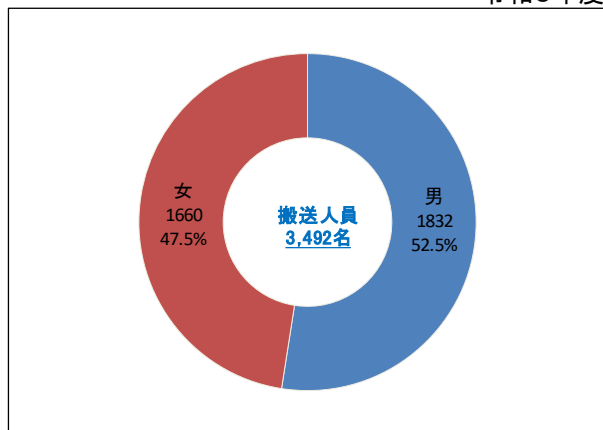
10. 医療機関収容所要時間別搬送人員

令和6年度



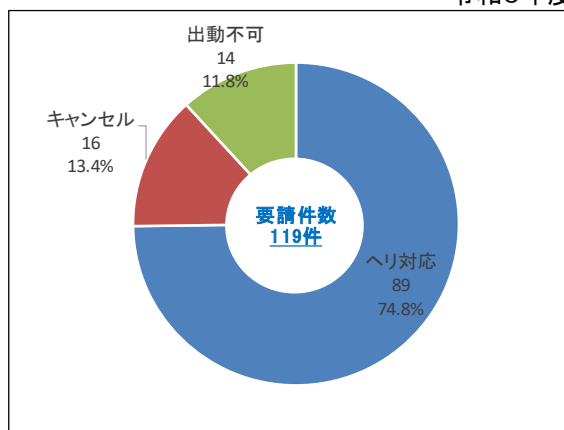
11. 搬送人員の性別割合

令和6年度



12. ドクターヘリの状況

令和6年度



119番受信から現場到着に要した時間						合計
~2分	3~4分	5~9分	10~19分	20~29分	30分~	
50	188	1,764	1,529	123	25	3,679

119番受信から医療機関への搬送に要した時間					合計
~19分	20~29分	30~59分	60~119分	120分~	
52	631	2,111	682	16	3,492

13. 救急救命処置の実施状況等

(各年)

年	救急救命士 資格者	搬送人員のうち救急隊が実施した救急救命処置(名)								
		除細動	器具による 気道確保		静脈路確保		薬剤投与		血糖 測定	エピ ペン 投与
			気管 挿管	食道 閉鎖式 等	CPA	CPA前	アドレ ナリン	ブドウ 糖		
R02	34	8	3	43	51	26	26	11	62	0
R03	35	4	7	44	52	25	28	5	54	0
R04	36	2	6	46	52	29	38	8	66	0
R05	36	5	6	49	48	14	33	8	83	0
R06	38	3	0	31	41	31	26	6	72	0

※「CPA」:心肺停止状態

14. 心肺停止症例に関連する数値

(各年)

年	CPA 傷病者 (人) ①	バイスタンダーによる応急手当				経 過 等			
		胸骨 圧迫 ②	②/①	除細動 ③	③/①	1か月 生存 ④	④/①	社会 復帰 ⑤	⑤/①
R02	99	66	66.7%	2	2.0%	2	2.0%	1	1.0%
R03	95	59	62.1%	1	1.1%	4	4.2%	1	1.1%
R04	80	44	55.0%	1	1.3%	5	6.3%	1	1.3%
R05	89	57	64.0%	0	0.0%	3	3.4%	0	0.0%
R06	64	40	62.5%	1	1.6%	1	1.6%	1	1.6%

※「バイスタンダー」:けが人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人のこと。

15. 応急手当普及啓発講習の状況

(各年)

区分 年度	普通救命講習 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)		救命入門コース (45分・90分)		上級救命講習		指導者関係講習 (指導員・普及員)				その他の講習		合 計	
	回数	受講 人数	回数	受講 人数	回数	受講 人数	養成講習		再講習		回数	受講 人数	回数	受講 人数
							回数	受講 人数	回数	受講 人数				
R02	0	0	39	438	0	0	0	0	0	0	0	0	39	438
R03	0	0	16	257	0	0	0	0	1	188	8	134	25	579
R04	1	16	51	586	0	0	9	48	2	75	33	101	96	826
R05	3	41	53	854	0	0	2	22	1	7	5	120	64	1,044
R06	2	14	71	1,253	0	0	3	19	3	61	20	375	99	1,722

【注】

- 普通救命講習Ⅰ：主に成人に対する方法を学ぶ(3時間)
- 普通救命講習Ⅱ：ある程度の頻度で応急手当をすることが想定される方を対象(4時間)
- 普通救命講習Ⅲ：主に乳幼児や小児に対する方法を学ぶ(3時間)
- 救命入門コース_90分：胸骨圧迫とAEDの使用方法に重点を置いた短時間の講習
- 救命入門コース_45分：胸骨圧迫とAEDの使用方法に特に焦点を当てた最も短時間の講習
- 応急手当指導員：地域の応急手当普及啓発のため、あらゆる種類の救急講習で指導ができる。
- 応急手当普及員：地区防災組織や事業所等の普及を主な目的として救急講習の指導ができる。



消防団編

消防団編

1. 歴代消防団長・方面隊長

令和7年4月1日

区分	職名	歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
十日町市消防団	団長	初代	菅 村 新 蔵	昭29. 3.31	昭38. 3.31	昭和24.4.1～29.3.30 十日町消防団長
		二代	島 田 善 作	昭38. 4. 1	昭51. 4.17	
		三代	波 間 幸 三	昭51. 4.20	昭51.11.29	
		四代	樋 口 朝 則	昭51.12. 8	昭54.11. 5	
		五代	滝 沢 光 義	昭54.11. 6	平 3. 3.31	
		六代	田 村 久 策	平 3. 4. 1	平13. 3.31	
		七代	上 村 久 夫	平13. 4. 1	平19. 3.31	平成17.4.1 市町村合併
		八代	富 井 利 明	平19. 4. 1	平27. 3.31	
		九代	樋 口 茂 吉	平27. 4. 1		現職

区分	職名	歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
津南町消防団	団長	初代	清 水 義 男	昭30. 1. 1	昭37. 3.31	
		二代	涌 井 米 造	昭37. 4. 1	昭45. 3.31	
		三代	樋 口 喜 一 郎	昭45. 4. 1	昭59. 3.31	
		四代	内 山 朋 次	昭59. 4. 1	平元. 3.31	
		五代	石 沢 武 夫	平元. 4. 1	平 6. 3.31	
		六代	吉 野 重 男	平 6. 4. 1	平11. 3.31	
		七代	保 坂 又 平	平11. 4. 1	平15. 3.31	
		八代	大 口 英 雄	平15. 4. 1	平19. 3.31	
		九代	樋 口 正 登	平19. 4. 1	平23. 3.31	
		十代	大 島 則 雄	平23. 4. 1	平30. 3.31	
		十一代	滝 沢 満 春	平30. 4. 1	令 4. 3.31	
		十二代	涌 井 隆 行	令 4. 4. 1		現職

※川西町・中里村・松代町・松之山町消防団は、平成17年4月1日に旧十日町市消防団と新設合併し、十日町市消防団となる。

区分	職名	歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
旧川西町消防団	団長	初代	丸 山 准 二	昭31. 9. 1	昭40. 3.31	
		二代	富 井 正 治	昭40. 4. 1	昭49.10.14	
		三代	小 林 申 一	昭49.10.15	昭53. 3.31	
		四代	登 坂 敬 恒	昭53. 4. 1	昭59. 3.31	
		五代	丸 山 仁 吉	昭59. 4. 1	昭63. 3.31	
		六代	小 林 義 幸	昭63. 4. 1	平 5. 3.31	
		七代	清 水 善 三	平 5. 4. 1	平15. 3.31	
		八代	上 村 英 雄	平15. 4. 1	平17. 3.31	

区分	職名	歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
旧中里村消防団	団長	初代	山 本 茂 一	昭30. 3.31	昭32. 3.12	昭和26.4.1～30.3.30 田沢村消防団長
		二代	鈴 木 国 一 郎	昭32. 4. 1	昭44. 3.31	
		三代	吉 楽 福 一 郎	昭44. 4. 1	昭50. 3.31	
		四代	広 田 宏 太 郎	昭50. 4. 1	昭60. 3.31	
		五代	樋 口 正 次	昭60. 4. 1	平10. 3.31	
		六代	鏡 野 寅 治	平10. 4. 1	平15. 3.31	
		七代	上 原 正 行	平15. 4. 1	平17. 3.31	

区分	職名	歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
旧松代町消防団	団長	初代	柳 貞 輔	昭27.10. 1	昭39. 4.30	昭和29.10.1町制施行
		二代	佐 藤 行 男	昭39. 5. 1	昭44. 6.30	
		三代	武 田 雄 一 郎	昭44. 7. 1	昭60. 3.31	
		四代	室 岡 忠 俊	昭60. 4. 1	平 6. 3.31	
		五代	樋 口 堅 一	平 6. 4. 1	平13. 3.31	
		六代	若 山 幸 市	平13. 4. 1	平14. 3.31	
		七代	市 川 嘉 吉	平14. 4. 1	平17. 3.31	

区分	職名	歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
旧松之山町消防団	団長	初代	柳 政 司	昭33.11. 1	昭46. 5.31	昭和24.4.1～33.10.31 松之山村消防団長
		二代	邨 山 正 堅	昭46. 6. 1	昭55. 3.31	
		三代	山 岸 長 佐 久	昭55. 4. 1	昭58. 3.31	
		四代	高 橋 平 八 郎	昭58. 4. 1	昭60. 3.31	
		五代	小 野 塚 健 一	昭60. 4. 1	平 4. 3.31	
		六代	田 辺 慎 一	平 4. 4. 1	平 7. 6.30	
		七代	飯 塚 正 和	平 7. 7. 1	平12. 3.31	
		八代	保 坂 久 美 夫	平12. 4. 1	平17. 3.31	

十日町市消防団 歴代方面隊長

方面隊名	歴代	氏 名	就 任	退 任	備 考
十日町	初代	宮 澤 國 一	平17. 4. 1	平21. 3.31	
	二代	児 玉 重 治	平21. 4. 1	平22. 3.31	
	三代	徳 永 稔	平22. 4. 1	平23. 3.31	
	四代	楯 沢 英 和	平23. 4. 1	平25. 3.31	
	五代	村 山 昭	平25. 4. 1	平26. 3.31	
	六代	保 坂 隆 一	平26. 4. 1	平27. 3.31	
	七代	高 野 明	平27. 4. 1	平30. 3.31	
	八代	斎 木 政 文	平30. 4. 1	令 2. 3.31	
	九代	塩 川 芳 和	令 2. 4. 1	令 5. 3.31	現十日町市消防団副団長
	十代	西 方 明	令 6. 4. 1		現職
川 西	初代	柄 澤 克 幸	平17. 4. 1	平19. 3.31	
	二代	田 口 信 雄	平19. 4. 1	平21. 3.31	
	三代	中 條 裕 基	平21. 4. 1	平25. 3.31	
	四代	高 橋 武	平25. 4. 1	平30. 3.31	
	五代	野 沢 政 利	平30. 4. 1	令 2. 3.31	現十日町市消防副団長
	六代	上 原 勝 一	令 2. 4. 1		現職
中 里	初代	富 井 利 明	平17. 4. 1	平19. 3.31	
	二代	樋 口 茂 吉	平19. 4. 1	平22. 3.31	現十日町市消防団長
	三代	樋 口 勝 彦	平22. 4. 1	平27. 3.31	現十日町市消防団副団長
	四代	山 本 勝 久	平27. 4. 1	平30. 3.31	
	五代	羽 鳥 茂 宣	平30. 4. 1	令 4. 3.31	
	五代	高 橋 正 敏	令 4. 4. 1	令 5. 3.31	
	六代	富 井 晶	令 6. 4. 1		現職
松 代	初代	瀬 沼 伸 彦	平17. 4. 1	平22. 3.31	現十日町市消防団副団長
	二代	小 堺 光 夫	平22. 4. 1	平27. 3.31	
	三代	米 持 義 裕	平27. 4. 1	平30. 3.31	
	四代	本 柳 学	平30. 4. 1		現職
松之山	初代	保 坂 久 美 夫	平17. 4. 1	平23. 3.31	
	二代	相 澤 敏	平23. 4. 1	平30. 3.31	
	三代	小 野 塚 茂	平30. 4. 1	令 4. 3.31	
	四代	関 谷 敏 明	令 4. 4. 1		現職

2. 消防団員の報酬(年額)

令和7年4月1日(単位:円)

年報酬基礎額		役 職 加 算 額			
十日町市・津南町消防団		十日町市消防団		津南町消防団	
団 長	132,000				
副 団 長	93,000	総務・訓練・技術・予防・女性部担当	10,000	女性部担当	10,000
		方面隊長	10,000		
		副方面隊長職の教育主幹	7,000	教育主幹	10,000
		副教育主幹	5,000		
分 団 長	66,000	訓練・技術・予防部長	5,000	訓練・技術・予防部長	5,000
副分団長	49,500				
部 長	40,500				
班 長	37,000				
団 員	36,500				

3. 消防団員の出勤手当

区 分		演習・訓練・警戒
1回当たり出勤手当金額		
	4時間未満	2,400
	4時間以上	4,000
区 分		災 害
職務1回当たり出勤手当金額		(災害に起因する警戒を含む)
		2時間まで2,400円、2時間を超えた1時間ごとに980円を加算(1時間未満切上げ)
		災害現場で活動の必要がなかった場合は1,200円

4. 消防団員の退職報償金受給状況

十日町市・津南町

令和6年度		受給者	金額
	十日町	51	20,600,000
	川西	8	2,950,000
	中里	16	7,174,000
	松代	14	6,547,000
	松之山	7	3,984,000
	津南	20	8,305,000
	合計	116	49,560,000

5. 消防団員の配置状況(実員)

令和7年4月1日(単位:人)

階級別 消防団(方面隊)別		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
十日町市消防団	十日町方面隊	1	8	15	12	36	72	629	773
	川西方面隊		2	8	5	11	21	197	244
	中里方面隊		2	8	5	12	23	186	236
	松代方面隊		2	7	4	10	12	60	95
	松之山方面隊		2	8	5	7	13	74	109
津南町消防団		1	2	10	7	28	50	366	464
計		2	18	56	38	104	191	1,512	1,921

6. 消防団員の新任状況

令和6年度(単位:人)

区分 消防団(方面隊)名		18歳～ 20歳	21歳～ 25歳	26歳～ 30歳	31歳～ 35歳	36歳～ 40歳	41歳～ 45歳	46歳～ 50歳	51歳 以上	合計
十日町市消防団	十日町方面隊	4	3	5	11	8	3	2	1	37
	川西方面隊		2	1	2	2				7
	中里方面隊	1	1		3	5				10
	松代方面隊									
	松之山方面隊									
津南町消防団		1	4	5	3			1	3	17
合計		6	10	11	19	15	3	3	4	71

7. 消防団員の退職状況

令和6年度(単位:人)

区分		退職事由			在職年数調			
		退 職 団員数	死亡による	自己都合	5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上
消防団(方面隊)名								
十日町市消防団	十日町方面隊	60	1	59	6	12	15	27
	川西方面隊	8		8		1	3	4
	中里方面隊	16		16		3	1	12
	松代方面隊	15		15	1	2	2	10
	松之山方面隊	7	1	6			2	5
津南町消防団		25		25	4	4	5	12
合 計		131	2	129	11	22	28	70

8. 消防団員の職業別状況

令和6年度(単位:人)

区分 消防団(方面隊)名		地方公務員	国家公務員	J A グループ	J A 以外の公務員に 準ずる職員	日本郵政 グループ	左記以外の 被用者	自営業	その他	合 計
十日町市消防団	十日町方面隊	35	1	46	1	5	580	86	19	773
	川西方面隊	12		16	5		185	20	6	244
	中里方面隊	11		13	3	3	186	16	4	236
	松代方面隊	5		4		1	69	7	9	95
	松之山方面隊	11	1	14	1		51	28	3	109
津南町消防団		50		31	9	1	288	76	9	464
合 計		124	2	124	19	10	1359	233	50	1,921

9. 消防団員の勤続状況

令和6年度(単位:人)

消防団 (方面隊) 別	階級別 年数別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
十日町市消防団	十日町方面隊	5 年 未 満					1	103	104
		5年以上10年未満				4	17	145	166
		10年以上15年未満		1	1	13	29	152	197
		15年以上20年未満			2	5	14	128	156
		20年以上25年未満			3	4	9	53	74
		25年以上30年未満		1	7	2	2	38	52
		30 年 以 上	1	6	2		1	4	10
		合 計	1	8	15	12	36	72	629
		平均勤続年数(年)	44.0	35.5	24.0	20.6	16.4	14.0	12.2
	川西方面隊	5 年 未 満					1	26	27
		5年以上10年未満				1	7	47	55
		10年以上15年未満			2	2	3	47	58
		15年以上20年未満			1	1	5	32	40
		20年以上25年未満		1	2	2	3	19	30
		25年以上30年未満		1	1		2	13	18
		30 年 以 上			2		1	13	16
		合 計		2	8	5	11	21	197
		平均勤続年数(年)		25.5	23.3	17.6	19.2	13.6	13.9
	中里方面隊	5 年 未 満					2	31	33
		5年以上10年未満				1	3	35	39
		10年以上15年未満				1	5	35	41
		15年以上20年未満				2	3	37	49
		20年以上25年未満		1	1	2	5	4	26
		25年以上30年未満		1	5	1	2	14	25
		30 年 以 上			2			8	10
		合 計		2	8	5	12	23	186
		平均勤続年数(年)		24.5	28.4	21.4	20.1	15.0	13.8
	松代方面隊	5 年 未 満					2	9	11
		5年以上10年未満				1	2	9	15
		10年以上15年未満			1		2	11	15
		15年以上20年未満			4	3	3	12	25
		20年以上25年未満					2	3	8
		25年以上30年未満		2	1			9	12
		30 年 以 上			1		1	2	4
		合 計		2	7	4	10	12	60
		平均勤続年数(年)		25.5	20.9	15.0	16.7	12.9	15.2

消防団 (方面隊) 別	階級別 年数別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
十日町市消防団	松之山方面隊	5 年 未 満				1		8	9
		5年以上10年未満				1	2	10	13
		10年以上15年未満			2		4	16	22
		15年以上20年未満		1	1	1	2	10	15
		20年以上25年未満		1	2		2	7	12
		25年以上30年未満	1	5		3	2	13	24
		30 年 以 上	1	1		1	1	10	14
		合 計	2	8	5	7	13	74	109
		平均勤続年数(年)	36.0	26.8	16.8	21.6	17.5	17.4	18.7
津南町消防団		5 年 未 満				3	6	50	59
		5年以上10年未満			2	6	12	82	102
		10年以上15年未満				6	8	78	92
		15年以上20年未満		3	3	9	14	69	98
		20年以上25年未満		2	2	2	6	52	64
		25年以上30年未満		4		2	4	17	27
		30 年 以 上	1	2	1			18	22
		合 計	1	2	10	7	28	366	464
		平均勤続年数(年)	34.0	34.0	23.8	16.0	13.3	13.6	14.0

10. 消防団員表彰状況

令和6年度

表彰区分		所属	十日町市消防団					津南町消防団
			十日町方面隊	川西方面隊	中里方面隊	松代方面隊	松之山方面隊	
消防庁 官 長	褒 状							
	功 労 章							
	永年勤続功労章		3			1	1	1
県知事	功績章	幹 部	5	2	1	1	5	0
		教育主幹等						
	20 年 精 勤 章		25	7	9	4	3	16
	30 年 精 勤 章		7	2	4	3	1	7
日本 消防協会	特別表彰 まとい							
	竿 頭 綬							
	功 績 章		2					
	精 績 章		2	1	1			1
	勤 続 章		4		2	1	4	7
県消 防協 会	功績章	幹 部	5	2	1	1	5	1
		教育主幹等						
	10 年 精 勤 章		50	12	10	6	7	22
	20 年 精 勤 章		25	7	9	4	3	16
	30 年 精 勤 章		7	2	4	3	1	7

11. 消防団員の年齢状況

令和7年4月1日(単位:人)

消防団 (方面隊) 別	階級別 年齢別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
十日町方面隊	18歳～20歳							2	2
	21歳～25歳							9	9
	26歳～30歳						2	29	31
	31歳～35歳					1	7	78	86
	36歳～40歳					9	14	131	154
	41歳～45歳			2	2	8	23	148	183
	46歳～50歳			5	5	11	13	127	161
	51歳～55歳		1	6	4	6	9	69	95
	56歳 以上	1	7	2	1	1	4	36	52
	合 計	1	8	15	12	36	72	629	773
	平均年齢(歳)	65.0	61.8	51.3	49.0	45.1	43.7	42.8	43.4
川西方面隊	18歳～20歳								
	21歳～25歳							3	3
	26歳～30歳						1	19	20
	31歳～35歳			1		1	4	19	25
	36歳～40歳			1			6	35	42
	41歳～45歳			1	3	2	3	39	48
	46歳～50歳			3	2	5	6	46	62
	51歳～55歳		1			2	1	20	24
	56歳 以上		1	2		1		16	20
	合 計		2	8	5	11	21	197	244
	平均年齢(歳)		57.0	46.8	43.8	48.2	41.1	42.9	43.2
中里方面隊	18歳～20歳								
	21歳～25歳							2	2
	26歳～30歳							16	16
	31歳～35歳					1	2	31	34
	36歳～40歳						5	29	34
	41歳～45歳					4	9	42	55
	46歳～50歳		1	1	3	5	4	35	49
	51歳～55歳		1	4	2	2	3	25	37
	56歳 以上			3				6	9
	合 計		2	8	5	12	23	186	236
	平均年齢(歳)		51	54	50.2	46.1	42.7	41.9	42.8

消防団 (方面隊) 別		階級別 年令別	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
十日町市消防団	松代方面隊	18歳～20歳							3	3
		21歳～25歳							4	4
		26歳～30歳							5	5
		31歳～35歳			1	1	3	3	9	17
		36歳～40歳			1		3	3	9	16
		41歳～45歳			4	1	1	3	13	22
		46歳～50歳		1		2	2	1	8	14
		51歳～55歳		1			1	1	7	10
		56歳 以上			1			1	2	4
		合 計		2	7	4	10	12	60	95
		平均年齢(歳)		48.5	43.7	41.8	40.2	41.6	39.7	40.5
	松之山方面隊	18歳～20歳							1	1
		21歳～25歳							2	2
		26歳～30歳					1	1	4	6
		31歳～35歳						1	5	6
		36歳～40歳				1		2	8	11
		41歳～45歳			2	1	2	4	17	26
		46歳～50歳			4	2	2	2	15	25
		51歳～55歳		1		1	1	3	18	24
		56歳 以上		1	2		1		4	8
		合 計		2	8	5	7	13	74	109
		平均年齢(歳)		57.5	49.9	45.8	45.7	42.8	44.6	45.1
十日町市消防団	18歳～20歳							6	6	
	21歳～25歳							20	20	
	26歳～30歳					1	4	73	78	
	31歳～35歳			2	1	6	17	142	168	
	36歳～40歳			2	1	12	30	212	257	
	41歳～45歳			9	7	17	42	259	334	
	46歳～50歳		2	13	14	25	26	231	311	
	51歳～55歳		5	10	7	12	17	139	190	
	56歳 以上	1	9	10	1	3	5	64	93	
	合 計	1	16	46	31	76	141	1146	1457	
	平均年齢(歳)	65.0	57.6	49.6	46.9	45.1	42.9	42.6	43.2	
津南町消防団	18歳～20歳							1	1	
	21歳～25歳						2	15	17	
	26歳～30歳					3	8	39	50	
	31歳～35歳					3	6	57	66	
	36歳～40歳				2	10	11	98	121	
	41歳～45歳			3	2	6	16	69	96	
	46歳～50歳			6	2	4	2	39	53	
	51歳～55歳			1	1	1	3	31	37	
	56歳 以上	1	2			1	2	17	23	
	合 計	1	2	10	7	28	50	366	464	
	平均年齢(歳)	60.0	59.0	48.0	44.4	39.8	39.3	39.9	40.2	

12. 消防団の出動状況

種別 区分			火災	うち建物以外	救助活動	風水害等の災害	演習・訓練	警防査察	特別警戒	搜索	その他	計
十日町市消防団	方面隊 十日町	出動回数	14	3		3	84		9	1	6	117
		延人員	239	32		458	2,387		220	24	22	3,350
	方面隊 川西	出動回数	1	0		2	21		8	0	0	32
		延人員	18	0		133	629		133	0	0	913
	方面隊 中里	出動回数	0	0		2	27		7	0	0	36
		延人員	0	0		51	670		114	0	0	835
	方面隊 松代	出動回数	4	4		2	29		6	0	0	41
		延人員	54	54		45	339		100	0	0	538
	方面隊 松之山	出動回数	1	1		2	28		5	0	1	37
		延人員	18	18		80	314		109	0	4	525
消防団 津南町		出動回数	2	1		2	56		20	1	6	87
		延人員	13	9		282	1,160		266	16	21	1,758
合計		出動回数	22	9	0	13	245	0	55	2	13	350
		延人員	342	113	0	1,049	5,499	0	942	40	47	7,919

13. 消防団員一般教育訓練、訓練実施状況

種別 区分			演習訓練 (春・秋・出初式)	幹部訓練	水防訓練	ポンプ 操法訓練	消防学校 校外講習	機関員 訓練	新入団員 訓練	その他	計
十日町市消防団	方面隊 十日町	回数	11	1	1	49	1	1	1	19	84
		延人員	1,324	3	33	682	101	23	46	126	2,338
	方面隊 川西	回数	4	0	1	9	2	1	1	3	21
		延人員	401	0	17	113	58	22	11	7	629
	方面隊 中里	回数	9	2	1	8	39	61	1	3	124
		延人員	472	21	16	44	1	2	1	8	565
	方面隊 松代	回数	7	0	1	9	1	1	0	10	29
		延人員	149	0	15	86	29	19	0	41	339
	方面隊 松之山	回数	9	0	9	9	1	1	0	7	36
		延人員	149	0	15	86	29	19	0	41	339
消防団 津南町		回数	8	2	1	11	0	3	1	30	56
		延人員	733	115	31	46	0	125	17	93	1,160
合計		回数	48	5	14	95	44	68	4	72	350
		延人員	3,228	139	127	1,057	218	210	75	316	5,370

14. 消防団車両・ポンプ一覧表

(十日町市消防団)

令和7年4月1日

分団名			器具置場	区分	登録年月日	車齢	メーカー	ポンプ区分	配置年月日	ポンプ年数	その他積載品
	第2分団	3部1班	江道	軽積載車	H17.12.16	19	三菱	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H18.1.10	19	
	第3分団	自動車部	稲荷町	消防車	H20.3.21	17	トヨタ	A-2ﾓﾃﾞﾙ	H20.3.31	17	投光器一式
		1部1班	島	軽積載車	H26.9.11	10	ダイハツ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H26.9.11	10	
	第4分団	1部1班	川治	軽積載車	H19.11.16	17	三菱	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H19.11.29	17	
		2部2班	山本	軽積載車	H29.10.27	7	ダイハツ	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H29.11.9	7	
		4部1班	羽根川	軽積載車	H18.9.27	18	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H18.9.27	18	
		4部2班	二ツ屋	軽積載車	H27.10.7	9	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H27.10.27	9	
	第5分団	自動車部	四日町	消防車	S59.10.31	40	ニッサン	A-2	S59.10.31	36	
	第6分団	1部3班	中条旭町	軽積載車	H20.9.11	16	三菱	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H20.9.27	16	
		2部3班	北原	軽積載車	H24.9.20	12	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H24.9.20	12	
		3部1班	新水	軽積載車	H25.9.24	11	スズキ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H25.9.24	11	
	第9分団	1部1班	吉田山谷	軽積載車	H26.9.11	10	ダイハツ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H26.9.11	10	
	第10分団	1部1班	鏡坂	軽積載車	H30.11.15	6	ダイハツ	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H30.11.27	6	
		2部1班	鉢	軽積載車	H23.11.7	13	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	R1.11.26	5	
	第11分団	自動車部	下条本町	消防車	H5.3.24	32	三菱	A-2	H23.3.27	14	
		4部1班	渡野	軽積載車	R2.11.18	4	スズキ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	R2.11.18	4	
	第12分団	1部1班	馬水	軽積載車	R1.11.14	5	スズキ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	R1.12.14	5	
		2部2班	沢入り	軽積載車	H27.10.7	9	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H27.10.7	9	
	第13分団	自動車部	土市	消防車	H22.10.4	14	いすゞ	A-2	H22.10.4	14	
		1部2班	細尾	軽積載車	H28.10.6	8	スズキ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H28.10.6	8	
2分2班		安養寺	軽積載車	H24.9.20	12	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H24.9.20	12		
第14分団	1部1班	伊達	軽積載車	H19.3.28	18	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H19.3.30	18		
川西方面隊	本部分団	1部1班	山野田	軽積載車	H26.9.12	10	ダイハツ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H26.10.2	10	
		2部1班	中央町	消防車	H8.11.26	28	トヨタ	A-2ﾓﾃﾞﾙ	H8.11.25	28	
	第1分団	1部1班	中屋敷	軽積載車	H14.10.29	22	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H3.8.12	33	
		2部1班	坪山	積載車	H7.10.3	29	ニッサン	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H7.10.6	29	
	第2分団	1部1班	上野	軽積載車	H27.10.7	9	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H27.10.7	9	
		1部3班	川辺	軽積載車	R1.11.14	5	スズキ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	R1.12.14	5	
	第3分団	1部1班	橘	軽消防車	H28.10.6	8	三菱	B-3ﾈｲﾁｬｰ	H28.10.6	8	
		1部3班	原田	軽積載車	H27.10.7	9	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H27.10.7	9	
	第4分団	1部1班	中仙田	軽消防車	H28.10.6	8	三菱	B-3ﾈｲﾁｬｰ	H28.10.6	8	
		1部2班	室島	軽積載車	H9.10.3	27	ダイハツ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H5.10.13	31	
		2部1班	赤谷	軽積載車	H10.8.25	26	ダイハツ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H17.10.31	19	
	中里方面隊	本部分団	1部1班	上山	消防車	H27.11.11	9	日野	A-2ﾓﾃﾞﾙ	H27.11.11	9
1部2班			上山	軽積載車	R5.2.3	2	スズキ	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	R5.2.3	2	
第1分団		1部3班	如來寺	軽積載車	H29.10.24	7	ダイハツ	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H29.10.24	7	
		2部2班	小原	軽積載車	H21.12.25	15	三菱	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H24.8.30	12	
第2分団		1部2班	倉俣	軽積載車	H24.9.20	12	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H24.8.30	12	
		1部2班	朴木沢	軽積載車	H27.10.7	9	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H27.10.7	9	
第3分団		4部2班	小出	軽積載車	H24.12.17	12	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H24.12.20	12	
		1部2班	堀之内	軽積載車	R2.11.17	4	スズキ	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	R2.11.27	4	
第4分団		2部1班	本屋敷	軽積載車	H30.11.15	6	ダイハツ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H30.11.27	1	
		1部1班	松代	軽積載車	R5.2.3	2	スズキ	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	R5.2.3	2	
松代方面隊	本部分団	1部2班	松代	軽積載車	H21.12.25	15	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H19.11.24	17	
		1部3班	松代	消防車	H30.3.13	7	日野	A-2ﾓﾃﾞﾙ	H30.3.13	7	
		3部1班	千年	軽積載車	H20.9.11	16	三菱	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H20.9.28	16	
	第1分団	4部1班	蓬平	軽積載車	H21.11.18	15	三菱	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H26.8.19	10	
		1部1班	犬伏	軽積載車	H2.11.22	34	スズキ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	R2.11.27	4	
	第2分団	1部1班	室野	軽積載車	R1.11.14	5	スズキ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	R1.11.28		
		2部1班	儀明	軽積載車	H23.12.12	13	三菱	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H23.11.30	13	
	松之山方面隊	本部分団	1部1班	松之山	消防車	H6.1.6	31	ニッサン	A-2ﾓﾃﾞﾙ	H6.1.20	31
1部2班			新山	軽積載車	H15.9.29	21	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H15.10.2	21	
第1分団		1部2班	湯山	軽積載車	H25.9.24	11	スズキ	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H25.10.11	11	
		1部3班	川手	軽積載車	H15.10.6	21	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	H28.10.6	3	
第2分団		自動車部	湯本	消防車	H28.10.13	8	日野	A-2ﾓﾃﾞﾙ	H28.10.13	8	
		2部1班	天水越	軽積載車	H23.12.12	13	三菱	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H23.8.26	13	
第3分団		1部1班	東川	軽積載車	H20.9.11	16	三菱	B-3ﾄｰﾊｯｽﾞ	H20.10.19	16	
		1部2班	上之山	軽積載車	H21.11.18	15	三菱	B-3ｼﾊﾞｳﾗ	R2.9.4	4	
第4分団	1部3班	豊田	軽積載車	H27.10.7	9	スズキ	B-3ﾌﾍﾞｯﾄ	H27.10.7	9		
合 計									消防車	9台	
									軽消防車	2台	
									積載車	1台	
									軽積載車	47台	

(津南町消防団)

分団名		器具置場	区分	登録年月日	車齢	メーカー	ポンプ区分	配置年月日	ポンプ年数	その他積載品
本部分団	自動車部1班	大割野	軽消防車	H25.3.12	12	三菱	B-3ネイチャー	H26.3.29	11	
	自動車部2班	陣場下	消防車	H28.10.13	8	日野	A-2モリタ	H28.10.13	8	
第1分団	1部1班	正面	軽積載車	H25.9.24	11	スズキ	B-3トーハツ	H25.10.17	11	
	2部2班	十二ノ木	軽積載車	H20.8.26	16	三菱	B-3シハウラ	H6.9.8	30	
第2分団	2部1班	外丸	積載車	H11.9.30	25	トヨタ	B-3シハウラ	H11.10.3	25	
	1部1班	大井平	積載車	H12.1.11	25	ニッサン	B-3フレット	H12.1.20	25	
第3分団	4部2班	加用	軽積載車	H24.9.20	12	スズキ	B-3フレット	H24.8.30	12	
	6部1班	寺石	軽積載車	H27.10.7	9	スズキ	B-3フレット	H27.10.7		
第4分団	1部1班	赤沢	軽積載車	H23.11.7	13	三菱	B-3シハウラ	H18.10.1	18	
	3部1班	相吉	軽積載車	H21.11.26	15	スバル	B-3フレット	H13.10.5	23	
第5分団	1部1班	秋成	軽積載車	H28.10.6	8	スズキ	B-3シハウラ			
	3部2班	見玉	積載車	H11.9.27	25	トヨタ	B-3フレット	H11.10.3	25	
	4部1班	結束	軽積載車	H17.12.16	19	三菱	B-3トーハツ	H3.8.20	33	
第6分団	1部2班	船山	軽積載車	H21.11.18	15	三菱	B-3フレット	H21.11.18	15	
	3部1班	米原	軽積載車	H26.9.11	10	ダイハツ	B-3シハウラ	H26.10.8	10	
	3部2班	堂平	軽積載車	H7.7.30	29	スバル	B-3トーハツ	H30.11.27	6	
合 計									消防車	1台
									軽消防車	1台
									積載車	3台
									軽積載車	11台

15. 消防団小型動力ポンプ一覧表

(十日町市消防団)

分団名		ポンプ区分・台数	
		B-3(内B-2)	C-1
十日町	第1分団	4	
	第2分団	6	1
	第3分団	5	
	第4分団	6	1
	第5分団	4	1
	第6分団	7	1
	第9分団	5	
	第10分団	4	
	第11分団	8	
	第12分団	6	1
	第13分団	4	
	第14分団	3	
	合計	62	5

分団名		ポンプ区分・台数	
		B-3	C-1
松代方面隊	本部分団	2	
	第1分団	4	2
	第2分団	4	
	第3分団	3	1
	合計	13	3

分団名		ポンプ区分・台数	
		B-3	C-1
松之山方面隊	本部分団	1	
	第1分団	3	
	第2分団	2	2
	第3分団	2	
	第4分団	2	
	合計	10	2

分団名		ポンプ区分・台数	
		B-3	C-1
川西	本部分団	3	
	第1分団	4	
	第2分団	5	
	第3分団	4	
	第4分団	2	
	合計	18	

(津南町消防団)

分団名		ポンプ区分・台数	
		B-3	C-1
津南町消防団	本部分団	8	
	第1分団	7	
	第2分団	5	1
	第3分団	12	1
	第4分団	7	
	第5分団	7	
	第6分団	5	
	合計	51	2

分団名		ポンプ区分・台数	
		B-3	C-1
中里方面隊	本部分団	1	
	第1分団	7	
	第2分団	4	
	第3分団	6	
	第4分団	4	
	合計	22	

ポンプ区分・台数	B-3	C-1
管内総合計	176	12

16. 消防団幹部名簿

令和7年4月1日

消 防 団 名 及 び 所 属		階 級	職 名	氏 名
十 日 町 市 消 防 団	団 本 部	団 長		樋 口 茂 吉
		副 団 長	(総 務 担 当)	佐 藤 正 徳
		副 団 長	(訓 練 担 当)	樋 口 勝 彦
		副 団 長	(技 術 担 当)	瀬 沼 伸 彦
		副 団 長	(予 防 担 当)	塩 川 芳 和
		副 団 長	(女 性 部 担 当)	野 沢 政 利
	十 日 町 方 面 隊	副 団 長	方 面 隊 長	西 方 明
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	山 崎 秀 明
		副 団 長	副 方 面 隊 長 副 教 育 主 幹	藤 巻 格
	川 西 方 面 隊	副 団 長	方 面 隊 長	上 原 勝 一
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	押 木 勤
	中 里 方 面 隊	副 団 長	方 面 隊 長	富 井 晶
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	桑 原 公 司
	松 代 方 面 隊	副 団 長	方 面 隊 長	本 柳 学
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	小 堺 悟
	松 之 山 方 面 隊	副 団 長	方 面 隊 長	関 谷 敏 明
		副 団 長	副 方 面 隊 長 教 育 主 幹	小 野 塚 和 生
津 南 町 消 防 団		団 長		涌 井 隆 行
		副 団 長	教 育 主 幹	金 子 敦
		副 団 長	(女 性 部 担 当)	小 島 祐 二

2025年 消防年報（令和6年版）

令和7年8月 発行

**TOKAMACHI
NIIGATA**

編集発行 十日町地域消防本部 総務課企画広報係

〒948-0007 新潟県十日町市四日町新田 1041 番地

TEL (025) 757-0119 FAX (025) 757-8499

e-mail tfd119@tokamachi-kouiki.jp